

公営企業局の概要

(電気事業及び工業用水道事業)



令和 8 年 8 月

高知県公営企業局

目 次

I 総 括

1 公営企業局の年譜	1
2 組織	4
3 分掌事務	6

II 電 気 事 業

1 水力発電	11
2 風力発電	14
3 太陽光発電	15
4 事業の概要図	17
5 施設の概要	19
水力発電所	19
6 業務量	22
(1)水力発電	22
(2)風力発電	22
7 電力料金の推移	25
8 電気事業有料駐車場(附帯事業)	26
(1)事業の概要	26
(2)料金の設定	26
9 公営企業局の森事業	27
(1)公営企業局の森事業概要	27
(2)公営企業局の森所在地	28
10 電気事業会計収支内訳表	29
(1)収益的収支	29
(2)資本的収支	29
11 固定資産の状況	30
12 企業債の状況	31

III 工業用水道事業

1 鏡川工業用水道事業	35
-------------------	----

(1)事業の概要	35
(2)鏡川総合開発事業の概要	35
(3)施設の概要	37
(4)施設の概要図	39
(5)工業用水道送配水管路図	41
(6)給水契約の推移	43
(7)給水料金の推移	51
2 工業用水道事業有料駐車場(附帯事業)	52
(1)事業の概要	52
(2)料金の設定	52
3 香南工業用水道事業	53
(1)事業の概要	53
(2)工業用水供給計画	53
(3)主要施設の概要	53
(4)香南市からの譲り受け施設概要	54
(5)給水の概要	54
(6)香南工業用水道 配水系統概要図	54
(7)香南工業用水道 施設概要図	55
(8)給水契約の推移	57
4 工業用水道事業会計収支内訳表	59
(1)収益的収支	59
(2)資本的収支	59
5 固定資産の状況	60
6 企業債の状況	61

総

括

I 総 括

1 公営企業局の年譜

(局内一般)

年 月	事 項
明治 40. 3	水力電気建設係設置
40. 8	水力電気事務所に改組
昭和 2. 4	高知県電気局と改称
	局舎落成
17. 3	電気事業廃止に伴い廃局
25. 9	企画室設置
28. 2	地方公営企業法の適用に伴い電気局を設置
38. 4	工業用水道事業を同一組織で行うことになり電気利水局と改称
39. 11	観光施設事業を同一組織で行うことになり企業局と改称
	機構改革
	管理課、電気利水課、観光施設課
42. 1	高知県公営企業の設置等に関する条例の制定
45. 4	機構改革
	総務企画課、経理課、電気課、土木課
51. 4	機構改革
	総務課、電気課、土木課
52. 4	機構改革
	総務課、工務課
平成 15. 4	機構改革
	企画課、総務課、工務課
平成 19. 4	病院事業を同一組織で行うこととなり企業局と病院局を統合し公営企業局と改称
	機構改革
	総務課、電気工水課、県立病院課
平成 22. 4	機構改革
	電気工水課、県立病院課

(電気事業)

年 月	事 項
明治 35. 11	水力発電調査に着手
39. 11	電気事業経営許可
42. 2	平山発電所 (1,080 kW) 竣工
42. 3	営業開始
	その後経営を拡充して事業廃止時には全県下に配電し、その規模は、
	水力発電所 15 か所 出力 29,293 kW
	火力発電所 1 か所 出力 4,100 kW
	変 電 所 11 か所 出力 24,430 kW
	送電線路亘長 443.33 km
	配電線路亘長 5,439.90 km
昭和 14. 4	日本発送電株式会社第1次出資
16. 10	日本発送電株式会社第2次出資
17. 3	配電統制令により残存設備を四国配電に出資して電気事業廃止
26. 7	電気事業経営許可申請

年 月	事 項
昭和 26. 9	物部川発電所建設事務所を設置
27. 7	電気事業経営許可
28. 4	吉野発電所竣工
29. 12	吉野発電所災害対策事務所を設置
30. 8	永瀬発電所竣工
30. 12	物部川発電所建設事務所を閉鎖
32. 3	吉野発電所災害対策事務所を閉鎖
32. 4	杉田発電所建設事務所を設置
34. 9	杉田発電所竣工
35. 2	杉田発電所建設事務所を閉鎖
39. 9	発電施設保守所を設置
54. 3	吉野発電所管理事務所を設置
59. 3	発電施設保守所を改築
59. 4	豊永発電所建設調査に着手
62. 2	豊永発電所建設計画を一時凍結
平成 4. 3	豊永発電所建設計画を中止
6. 11	野市風力発電所建設に着手
7. 3	野市風力発電所竣工
9. 5	発電所等集中制御化事業に着手
10. 3	大豊風力発電所の建設に着手
11. 3	大豊風力発電所の竣工
13. 3	発電所等集中制御化事業の完成
13. 4	5事業所を統廃合し、発電管理事務所及び総合制御所を設置
15. 5	甫喜ヶ峰風力発電所建設に着手
16. 1	甫喜ヶ峰風力発電所の竣工
22. 1	総合制御所に、太陽光発電設備（10kW）を設置
23. 4	電気事業有料駐車場（升形・新屋敷）の完成
28. 9	野市風力発電所を廃止
令和元. 8	大豊風力発電所を廃止
6. 5	甫喜ヶ峰風力発電所を廃止

（工業用水道事業）

年 月	事 項
昭和 38. 4	工業用水道事業（会計）の設置
40. 4	鏡川工業用水道建設事務所を設置
41. 11	鏡川工業用水道管理事務所を設置 （栈橋・港地区への一部給水開始）
42. 3	鏡川工業用水道建設事務所を廃止
44. 4	（弘化台地区への給水開始）
46. 4	高知分水関連工業用水道事業（水源費）に着手
47. 2	仁井田地区の配水管増設工事完成
51. 3	仁井田地区への配水管延長工事完成
53. 12	高知分水関連工業用水道事業（水源費）の完成
58. 3	北タナスカ地区への配水管延長工事完成
59. 4	中筋川ダム関連工業用水道事業（水源費）に着手

年 月	事 項
平成 8. 12	香南工業用水道事業の建設に着手
11. 3	中筋川ダム関連工業用水道事業(水源費)の完成
12. 3	鏡川工業用水道有料駐車場の完成
13. 3	香南工業用水道事業の完成
13. 4	総合制御所工業用水道課に組織変更
16. 1	鏡川工業用水道新規配水管布設工事完成(棧橋地区～港地区)
19. 3	高知分水関連工業用水道事業を知事部局に移管
24. 7	香南工業用水道一部給水開始(北部工業団地)
26. 3	中筋川ダム関連工業用水道事業を知事部局へ移管
令和元. 12	香南工業用水道全部給水開始 香南市工業用水道との事業統合

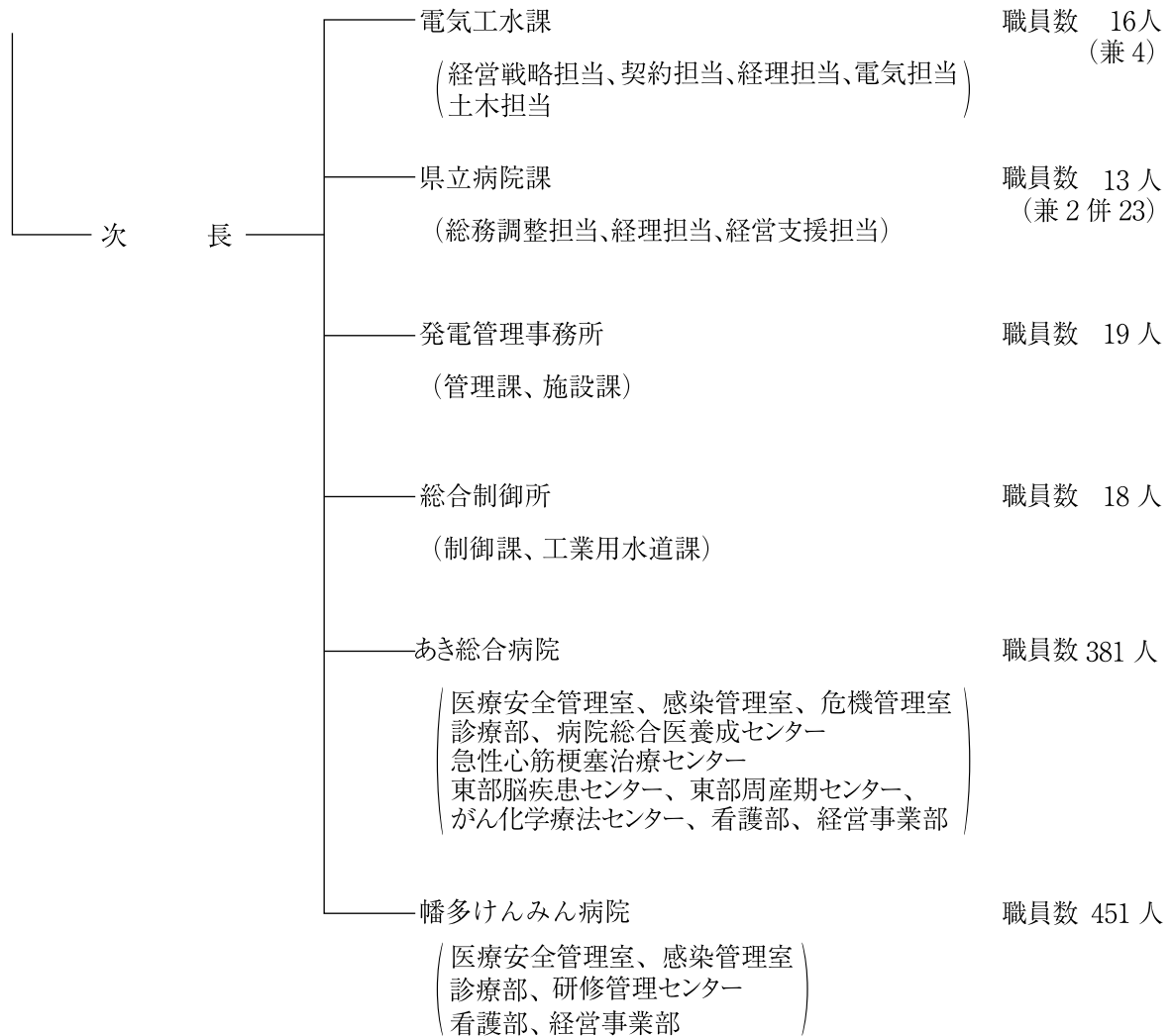
(観光施設事業)

年 月	事 項
昭和 43. 4	観光施設事業(会計)の設置 室戸岬有料道路建設事務所及び足摺岬有料道路建設事務所を設置
45. 3	室戸岬、足摺岬有料道路完成 室戸岬、足摺岬有料道路建設事務所を廃止
45. 4	室戸岬、足摺岬有料道路管理事務所を設置 横浪有料道路建設事務所を設置
48. 4	室戸岬有料道路建設事務所を設置(第二次建設工事)
48. 12	横浪有料道路完成 横浪有料道路管理事務所を設置
49. 3	横浪有料道路建設事務所を廃止
49. 4	仁淀川河口大橋有料道路建設事務所を設置
50. 3	室戸岬有料道路建設事務所を廃止
51. 4	室戸岬、足摺岬有料道路の管理の委任(土木部) 室戸岬、足摺岬有料道路管理事務所の廃止
52. 3	仁淀川河口大橋有料道路完成 仁淀川河口大橋有料道路建設事務所を廃止
52. 4	横浪、仁淀川河口大橋有料道路の管理の委任(土木部) 横浪有料道路管理事務所を廃止
56. 4	室戸岬有料道路を無料開放
61. 4	仁淀川河口大橋有料道路料金徴収時間変更
63. 4	横浪有料道路陸上道路部分を無料開放
63. 8	横浪有料道路を宇佐大橋有料道路と名称変更
平成 7. 4	足摺岬有料道路を無料開放
10. 7	仁淀川河口大橋有料道路の管理運営を高知県道路公社へ引継
10. 12	宇佐大橋有料道路を無料開放
11. 3	観光施設事業の廃止

2 組織（令和8年4月1日現在）

(1) 公営企業局（電気事業及び工業用水道事業に病院事業を加えた全体の組織図）

公営企業管理者
（公営企業局長）



計 900 人
（兼 6 ・ 併 23）

※局長、次長含む

(2) 電気事業及び工業用水道事業所在地

公営企業局		〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7-52
	電気工水課 (経営戦略担当、契約担当、経理担当、電気担当) 土木担当	TEL 088-821-4622 FAX 088-821-4626
	県立病院課 (総務調整担当)	TEL 088-821-4631 FAX 088-821-4509
発電管理事務所		〒782-0001 香美市土佐山田町杉田704
	管理課 (管理第一担当、管理第二担当、管理第三担当)	TEL 0887-52-2857 FAX 0887-52-2851
	施設課 (施設第一担当、施設第二担当)	TEL 0887-52-2845 FAX 0887-52-2901
総合制御所		〒780-8052 高知市鴨部1丁目1-26
	制御課 (制御第一担当、制御第二担当)	TEL 088-844-0926 FAX 088-844-1896
	工業用水道課	TEL 088-844-1898 FAX 088-844-1896

(3) 職員配置表(電気事業及び工業用水道事業)

(令和8年4月1日現在)

	区 分	事 務	技 術	会計年度任用職員	計
本 局	管理者(局長)	1			1
	次 長		1		1
	電 気 工 水 課	5	11	3	19
	県 立 病 院 課	4			4
	計	10	12	3	25
事 業 所	発電管理事務所		19	7	26
	総 合 制 御 所		18	2	20
	計		37	9	46
	合 計	10 (人)	49 (人)	12 (人)	71 (人)

3 分掌事務（電気事業及び工業用水道事業）

電気工水課
(1) 課及び事業所に関する次に掲げる事項 - ア 組織及び事務の総合調整に関すること。 - イ 条例、規程その他法規に関すること。 - ウ 職員の進退、賞罰、身分及び服務に関すること。 - エ 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関すること。 - オ 職員の研修及び福利厚生に関すること。 (2) 電気事業及び工業用水道事業に関する次に掲げる事項 - ア 経営の総合的な企画に関すること。 - イ 新エネルギーの事業化に関すること。 - ウ 経営の分析に関すること。 - エ 電力受給契約に関すること。 - オ 工業用水道の使用決定に関すること。 - カ 予算及び決算に関すること。 - キ 資金の調達及び運用に関すること。 - ク 現金、預金及び有価証券の出納保管に関すること。 - ケ 財産の取得、管理及び処分に関すること。 - コ 財産の補償に関すること。 - サ 物品、材料等の購入、保管及び出納に関すること。 - シ 工事の請負その他の契約に関すること。 (3) 電気事業及び工業用水道事業の施設の建設改良及び維持管理の統轄に関すること。 (4) 発電所及び工業用水道の運転の統轄に関すること。 (5) 電気事業及び工業用水道事業の工事の調査、設計、施行、監督及び検査に関すること。 (6) ダムの汚濁に関すること。 (7) 第3号から前号までに掲げるもののほか、電気事業及び工業用水道事業の技術に関すること。
県立病院課（総務調整担当）
上記(1)ア～オのうち電気工水課の主管に属する以外の事項

発電管理事務所 (1) 永瀬発電所(取水施設、放水施設及び附属施設を含む。)並びに吉野発電所及び杉田発電所(えん堤及び附属施設を含む。)の維持管理に関すること。 (2) 工事の調査、設計、施工、監督及び検査に関すること。 (3) 公営企業局の森の維持管理に関すること。
総合制御所 (1) 永瀬発電所(取水施設、放水施設及び附属施設を含む。)並びに吉野発電所及び杉田発電所(えん堤及び附属施設含む。)の運転に関すること。 (2) 鏡川工業用水道施設及び香南工業用水道施設の運転及び維持管理に関すること。 (3) 工業用水道有料駐車場の維持管理、利用許可及び料金の徴収に関すること。 (4) 工事の調査、設計、施工、監督及び検査に関すること。

電 気 事 業



Ⅱ 電 気 事 業

1 水力発電

高知県営電気事業の歴史は古く、明治35年に開発調査を始め、明治42年平山発電所の完成により公営電気事業として営業を開始した。その後業務を拡大し、低廉で良質豊富な電力の供給により産業の発展と県勢浮揚に大きく貢献してきたが、戦時中の国家統制のもと、昭和17年に日本発送電株式会社と四国配電株式会社に吸収され、33年間にわたる県営電気事業は廃止となった。

終戦後、高知平野に対する洪水調節（治水）と干害防止（かんがい）を目的とするほか、その落差を利用して発電を行い、電力不足のため著しく阻害されていた産業開発に役立てようとする物部川総合開発計画が策定され、この計画に基づき県営電気事業が再発足することになった。

電気事業の母体となった物部川総合開発の概要

（数値は計画完了時の昭和34年度現在）

永瀬ダム事業費負担内訳 （単位：千円）

区 分	負担率	負担すべき額
総事業費	100.00	3,939,000
公共事業	65.42	2,577,000
治 水	43.56	1,716,000
かんがい	21.86	861,000
電気事業	34.58	1,362,000

電気事業費内訳 （単位：千円）

区 分	建設費
総事業費	5,603,000
永瀬ダム共同工事負担金 （電気事業負担金）	1,362,000
電気専用事業費	4,241,000
永瀬発電所	1,758,000
杉田発電所	1,737,000
吉野発電所	746,000

事業効果

治 水

永瀬貯水池の操作によって洪水を調節し、下流部（深瀬）における計画洪水量 $5,400\text{m}^3/\text{s}$ を $4,900\text{m}^3/\text{s}$ に低減して、洪水による災害を防止する。

かんがい

かんがい用水の供給として、永瀬ダム貯水量の計画的な利用を図り、かんがい期には最大 $15.5\text{m}^3/\text{s}$ の水量を確保して香長平野の田畑に必要な用水を供給している。それにより、下流部にある合同堰および統合堰によるかんがい面積は、約 $3,270\text{ha}$ にのぼる。

発 電

昭和 26 年から昭和 34 年まで、9 か年の歳月を費やして順次建設した、吉野、永瀬、杉田の 3 発電所の合計最大出力（現在）は $39,200\text{kW}$ で、年間 $165,599,000\text{kWh}$ （R7～9 年度 3 カ年平均）の電力量を四国電力株式会社に供給する。

(1) 永瀬発電所

永瀬発電所は、永瀬ダムの貯水を香美市物部町大栃から延長 $3,240.41\text{m}$ の圧力ずい道によって香美市香北町白石に導き、最大出力 $22,100\text{kW}$ 、年間発電電力量 1 億 640 万 kWh の計画で、昭和 28 年 3 月着工し、昭和 30 年 8 月発電を開始した。

その後、平成 6、7 年度のオーバーホール時に水車発電機の効率を見直し下表のとおり出力変更を行った。

また、平成 14 年 3 月 29 日付で水利権の更新（30 年）が許可された。

最大出力の変更

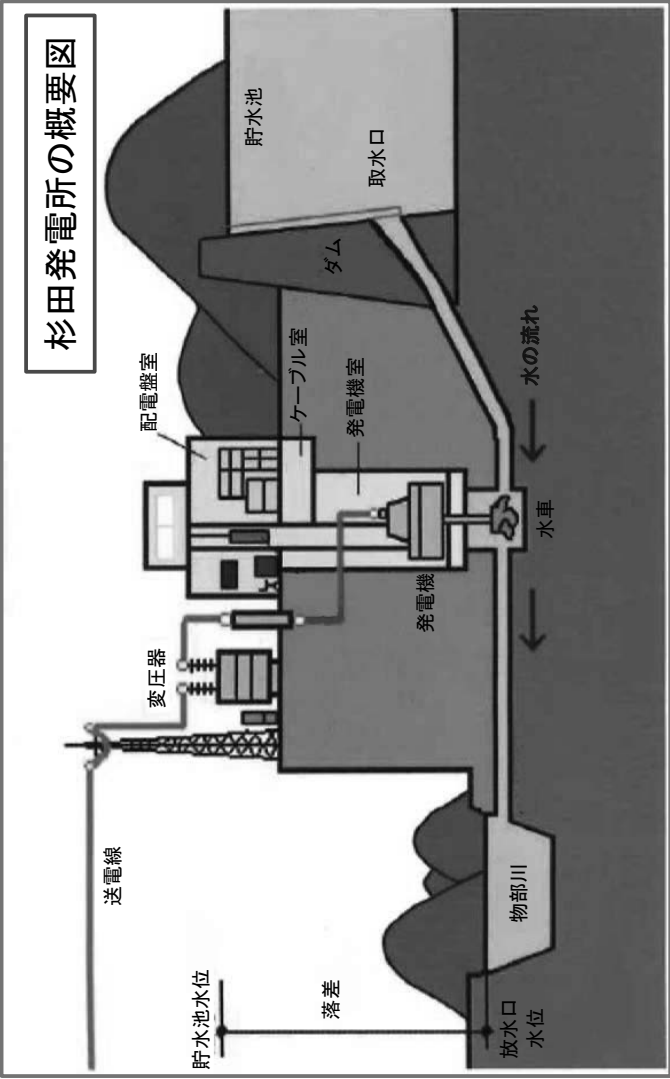
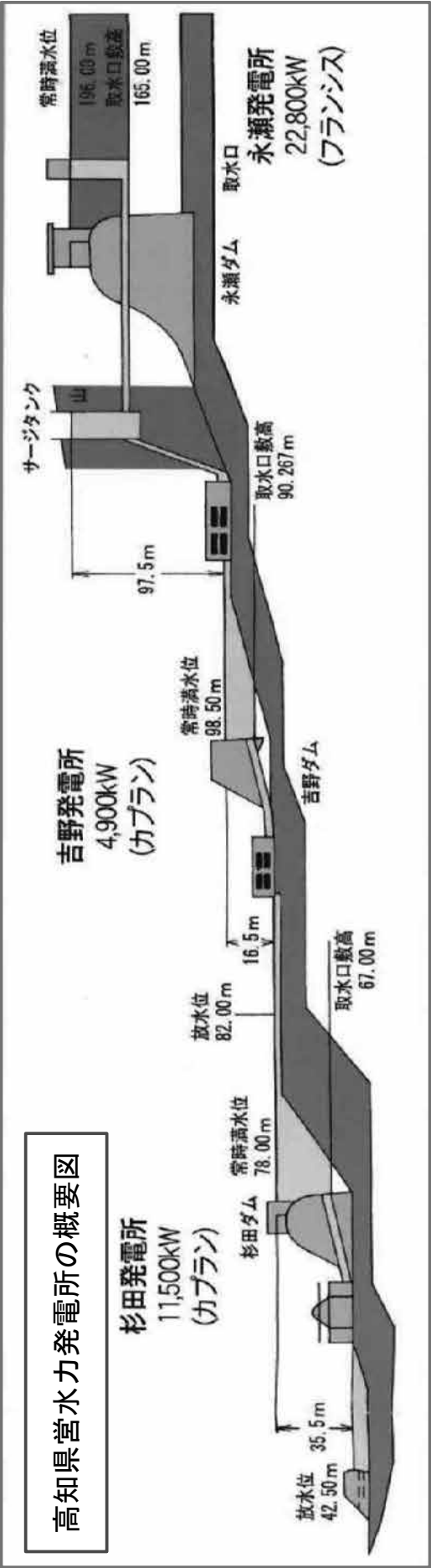
年・月・日	最大出力 kW	年間発電電力量 千 kWh
H7. 1. 30	22,500	109,130
H8. 4. 1	22,800	110,490

(2) 吉野発電所

吉野発電所は、永瀬ダムの下流香美市香北町吉野に、堤高 26.90m 、満水位標高 98.5m 、有効貯水量 50万m^3 のダムを築造し、この貯水及び永瀬ダムの貯水を利用してダム式発電を行うものである。最大出力 $4,900\text{kW}$ 、年間発電電力量 2,370 万 kWh の計画で、昭和 26 年 11 月着工し、昭和 28 年 4 月工事を終え発電を開始したが、昭和 29 年 9 月の 12 号台風による出水によりダム下流の河床が洗掘され、護岸が崩壊したため大規模な復旧工事を施工した経過がある。

(3) 杉田発電所

杉田発電所は、吉野発電所の下流、香美市土佐山田町杉田にダムを築造し、下流の水量を考慮して、上流発電所の逆調整発電を行うものであり、ダムの高さ 44m 、満水位標高 78m 、有効貯水量 580万m^3 、最大出力 $11,500\text{kW}$ 、年間発電電力量 6,280 万 kWh の計画で、昭和 32 年 4 月着工し、昭和 34 年 9 月発電を開始した。



2 風力発電

本県は、平地は少ないが四国山地には 1,000 m級の山が連なっており、平成 5 年度に新エネルギー・産業技術総合開発機構が公表した風況マップにも良好な風況のポイントが多数記された。

この調査結果に基づいて、平成 6 年度に香南市野市町に 250 kW 1 基の野市風力発電所を新エネルギーの普及啓発及び風力発電事業の経済性、技術的課題等を実証することを目的として建設した。

野市風力発電所の技術的経験を踏まえ、平成 10 年度には、600 kW 2 基の大豊風力発電所を長岡郡大豊町のゆとりすとパーク内に建設し、風力発電事業として本格的な経営を始めた。

さらに、平成 15 年度には 750 kW 2 基の甫喜ヶ峰風力発電所を香美市土佐山田町の甫喜ヶ峰森林公園内に建設した。

また、平成 24 年 7 月から施行された「再生可能エネルギー特別措置法(FIT 法)」により、3 風力発電所が固定価格買取制度の適用となり、契約単価がアップし、契約期間も延長されたことから、収支状況も改善されたが、FIT 法に係る売電期間が終了し、耐用年数も経過したこと等から、野市風力発電所は平成 28 年 9 月、大豊風力発電所は令和元年 8 月、甫喜ヶ峰風力発電所は令和 6 年 5 月に廃止することとなり、風力発電事業は終了することとなった。

これまで運営していた風力発電施設の概要

サイト名	野市風力発電所	大豊風力発電所	甫喜ヶ峰風力発電所
定格出力	250kw	1,200kw	1,500kw
基数	1	2	2
風車メーカー	ネグミーコン	ラガウェイ	ヴェスタス
建設事業費	111,374 千円	376,318 千円	402,131 千円
運転開始	平成7年4月	平成11年4月	平成16年1月
運転終了	平成28年9月	令和元年8月	令和6年5月
供給電力量(累計)	2,840,745 kWh	38,918,678 kWh	35,568,138 kWh
年間供給電力量(平均)	132,128 kWh	1,906,221 kWh	1,742,113 kWh

3 太陽光発電

本県は、日照時間が全国トップクラスにあり、恵まれた自然特性を有しているが、平成21年度当時、公共施設への太陽光発電設備の設置が十分に進んでいなかった。このような情勢の中、公営企業局は、将来の発電コストの低減化を見据え、維持管理や節電効果などのノウハウの蓄積を行うため、平成22年1月に総合制御所敷地内の工業用水道送水ポンプ場屋上に太陽光発電設備を設置した。

設置にあたっては、「地域新エネルギー等導入促進事業」としてNEPC（一般社団法人新エネルギー導入促進協議会）より4,000千円の補助、四国グリーン電力基金助成としてSTEP（財団法人 四国産業・技術振興センター）より1,000千円の助成を受けた。

なお、太陽光発電設備の設置により所内消費電力の20%程度を賄っている。

太陽光発電設備概要

○太陽電池モジュール

- ・セル種類：多結晶シリコン太陽電池
- ・容量：10.08kW（180W×56枚）

○パワーコンディショナ

- ・インバータ方式：電圧型電流制御
- ・定格容量：10kW

○その他

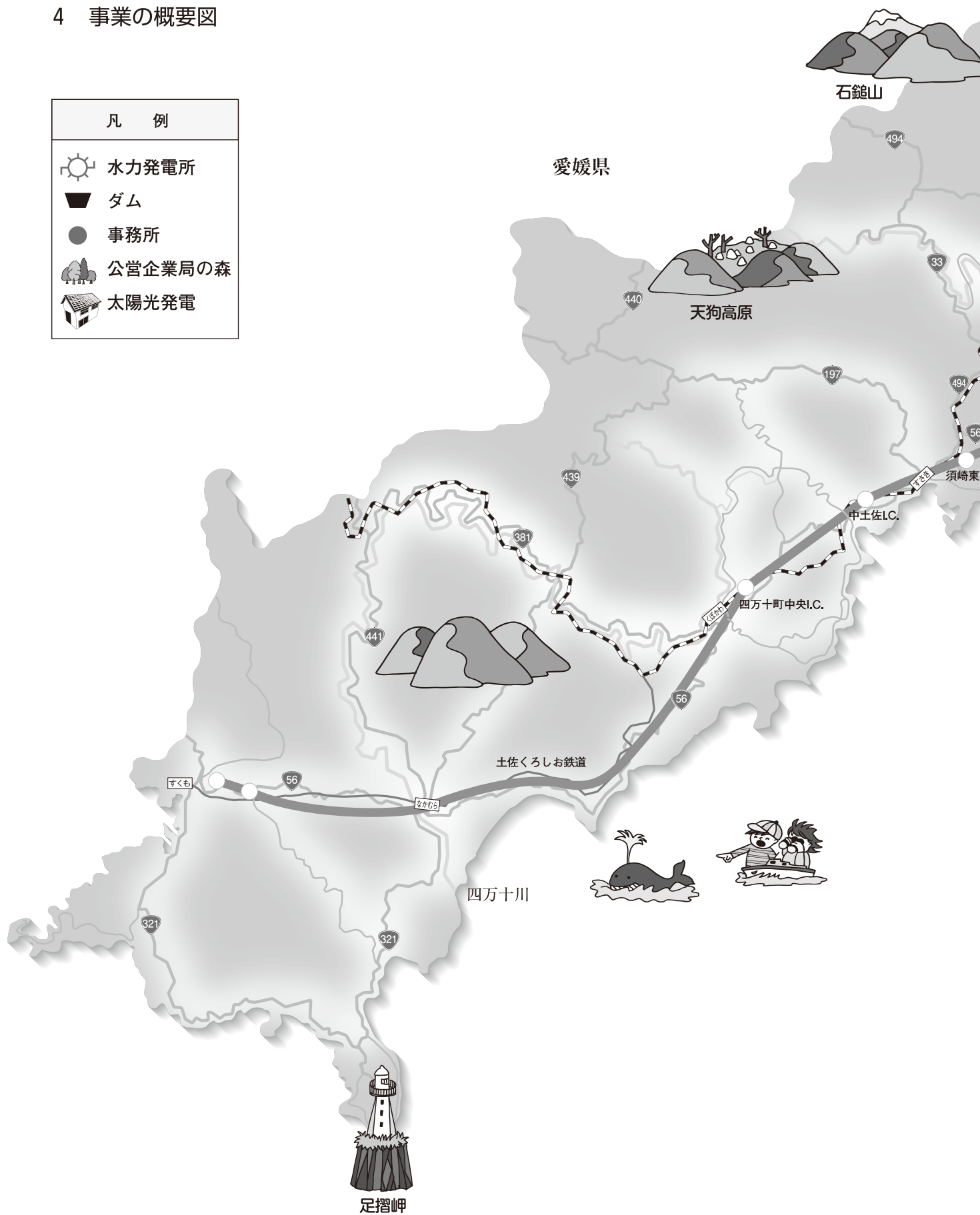
- ・気温計 ・日射計 ・計測装置 ・表示装置

太陽光発電設備設置事業費

事業費	自己資金	補助金（NEPC）	助成金（STEP）
12,805千円	7,805千円	4,000千円	1,000千円

4 事業の概要図

凡 例	
	水力発電所
	ダム
	事務所
	公営企業局の森
	太陽光発電





5 施設の概要

水力発電所

ア 発電施設の概要

発電所及び貯水池名		永 瀬	吉 野	杉 田
発 電 所 の 位 置		香美市香北町白石	香美市香北町吉野	香 美 市 土佐山田町杉田
発 電 方 式		ダム水路式	ダム式	ダム式
取 水 口 位 置		香美市物部町大栃	香美市香北町吉野	香 美 市 土佐山田町杉田
放 水 口 位 置		香美市香北町白石	香美市香北町吉野	香 美 市 土佐山田町杉田
取水 位 (EL.m)	最 高 標 高	196.00	98.50	78.00
	最 低 標 高	167.00	95.00	70.00
放 水 位 (EL.m)	最 高 標 高	98.50	82.00	42.50
	最 低 標 高	98.00	81.00	42.00
	平 均 標 高	98.25	81.50	42.25
総 落 差 (m)	最大使用水量時	97.50	16.50	35.50
	常時使用水量時	83.75	15.32	31.78
使用 水量 (m³/s)	最 大	30.00	37.00	40.00
	常 時	8.54	8.95	11.02
有 効 落 差 (m)	最大使用水量時	89.63	16.12	35.02
	常時使用水量時	82.91	15.30	31.74
出 力 (kW)	最 大	22,800	4,900	11,500
	常 時	5,900	920	2,700
工 事 期 間		昭 28. 3 ～ 32. 3	昭 26. 11 ～ 28. 4	昭 32. 4 ～ 35. 11
運 転 開 始 年 月		昭 30. 8	昭 28. 4	昭 34. 9

イ ダム及び貯水池等

発電所及び貯水池名		永 瀬	吉 野	杉 田
ダム	位 置	香美市香北町永瀬	香美市香北町吉野	香美市土佐山田町杉田
	流 域 面 積 (km ²)	295.20	343.40	440.00
	型 式	越流型重力式 コンクリート	越流型重力式 コンクリート	越流型重力式 コンクリート
	堤 頂 長 (m)	207.00	115.50	140.50
	高 さ (m)	87.00	26.90	44.00
	堤 体 積 (m ³)	380,000	21,670	66,930
	ゲ ー ト 数 (高さ×幅)	3 (9.37 × 12.00) 2 (9.37 × 9.00)	3 (9.00 × 14.00) 1 (9.90 × 12.00)	4 (12.30 × 12.00)
貯水池	満 水 位 標 高 (EL.m)	196.00	98.50	78.00
	最 低 水 位 標 高 (EL.m)	167.00	95.00	70.00
	利 用 水 深 (m)	29.00	3.50	8.00
	満水時湛水面積 (km ²)	2.08	0.32	0.94
	総 貯 水 容 量 (千 m ³)	40,489 (令 6.11 現在)	1,835 (令 7.1 現在)	9,912 (令 7.1 現在)
	有 効 容 量 (千 m ³)	35,714 (令 6.11 現在)	988 (令 7.1 現在)	5,824 (令 7.1 現在)
取水口	型式、高 さ (m)	取水塔 44.10	堤体前面取付 10.00	取水塔 15.00
隧道	形、内 径、勾 配 (m)	円 3.80 1/250 1/300 1/1,000	—	—
	延 長 (m)	3,240.41	—	—
水槽内径 × 高 さ (m)		8.00 × 46.00	—	—
水圧管路	内 径 × 本 数 (m)	3.30 ~ 2.80 × 1 2.20 ~ 2.00 × 2	3.50 × 3.00 × 2	3.60 × 1 末端 2.75 × 1
	延 長 (m)	152.536	20.612	47.567
	厚 さ (mm)	12 ~ 22	コンクリート	6 ~ 12
発 電 所 建 築 面 積 (m ²)		450.221	254.500	238.241
放水路	形、内 径、勾 配 (m)	馬蹄型 4.0 1.4/1,000	—	幅 4.0 高 2.9 ~ 3.7 箱型並列 — 1/3.4
	延 長 (m)	231.166	—	21.20

ウ 主要機器

発 電 所 名		永 瀬	吉 野	杉 田
水 車	型 式	VF-1RS 立軸単輪単流渦巻 フランシス	VK-1RH 立軸半渦巻 カプラン	VK-1RS 立軸渦巻 カプラン
	定 格 出 力 (kW)	11,700	5,250	12,000
	台 数	2	1	1
	回 転 数 (min ⁻¹)	360	225	300
	使 用 水 量 (m ³ /s)	15.00	37.00	40.00
発 電 機	型 式	立軸 閉鎖 通風 三相交流同期	同 左	立軸 閉鎖 通風 循環 三相交流同期
	容 量 (kVA)	13,000	6,000	12,000
	台 数	2	1	1
	回 転 数 (min ⁻¹)	360	225	300
	電 圧 (v)	11,000	6,600	11,000
	力 率 (%)	80.0	80.0	87.5
	周 波 数 (Hz)	60	60	60
変 圧 器	型 式	屋外油入自冷式	同 左	同 左
	容 量 (kVA)	27,000	6,000	12,000
	相	三 相	三 相	三 相
	周 波 数 (Hz)	60	60	60
	台 数	1	1	1
	電 圧 (kV)	10.5/63.0 - 66.0 - 69.0	6.3/63.0 - 66.0 - 69.0	10.5/63.0 - 66.0 - 69.0
	接 続	△ - △	△ - △	△ - △

6 業 務 量

(1)水力発電

ア 発電電力量

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
永瀬発電所	97,169,170 ^{kWh}	78,755,580 ^{kWh}	107,075,630 ^{kWh}	105,120,270 ^{kWh}	87,126,140 ^{kWh}
吉野発電所	18,021,810	13,580,950	19,451,390	18,541,660	16,030,710
杉田発電所	44,151,400	30,451,930	36,654,110	40,407,690	39,078,280
合 計	159,342,380	122,788,460	163,181,130	164,069,620	142,235,130

イ 供給電力量

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
永瀬発電所	96,446,060 ^{kWh}	78,159,370 ^{kWh}	106,248,320 ^{kWh}	104,329,100 ^{kWh}	86,511,870 ^{kWh}
吉野発電所	17,843,188	13,426,630	19,225,582	18,287,193	15,803,880
杉田発電所	43,568,130	30,049,530	36,250,710	39,943,280	38,578,750
合 計 (A)	157,857,378	121,635,530	161,724,612	162,559,573	140,894,500
供給目標 (B)	170,399,000	169,322,000	169,322,000	166,223,000	166,429,000
比較 (A)/(B)	92.6 [%]	71.8 [%]	95.5 [%]	97.8 [%]	84.7 [%]

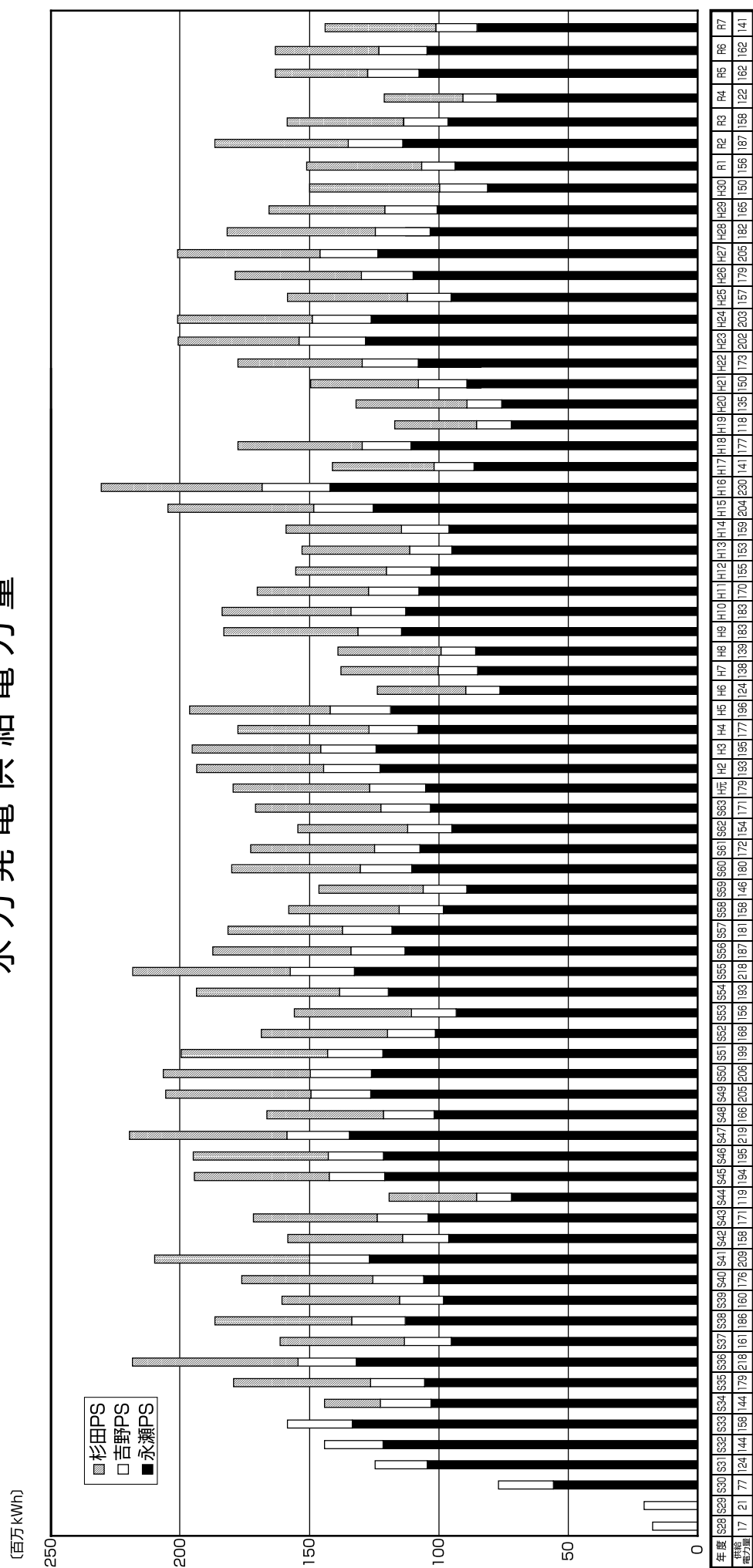
(2)風力発電

ア 販売電力量

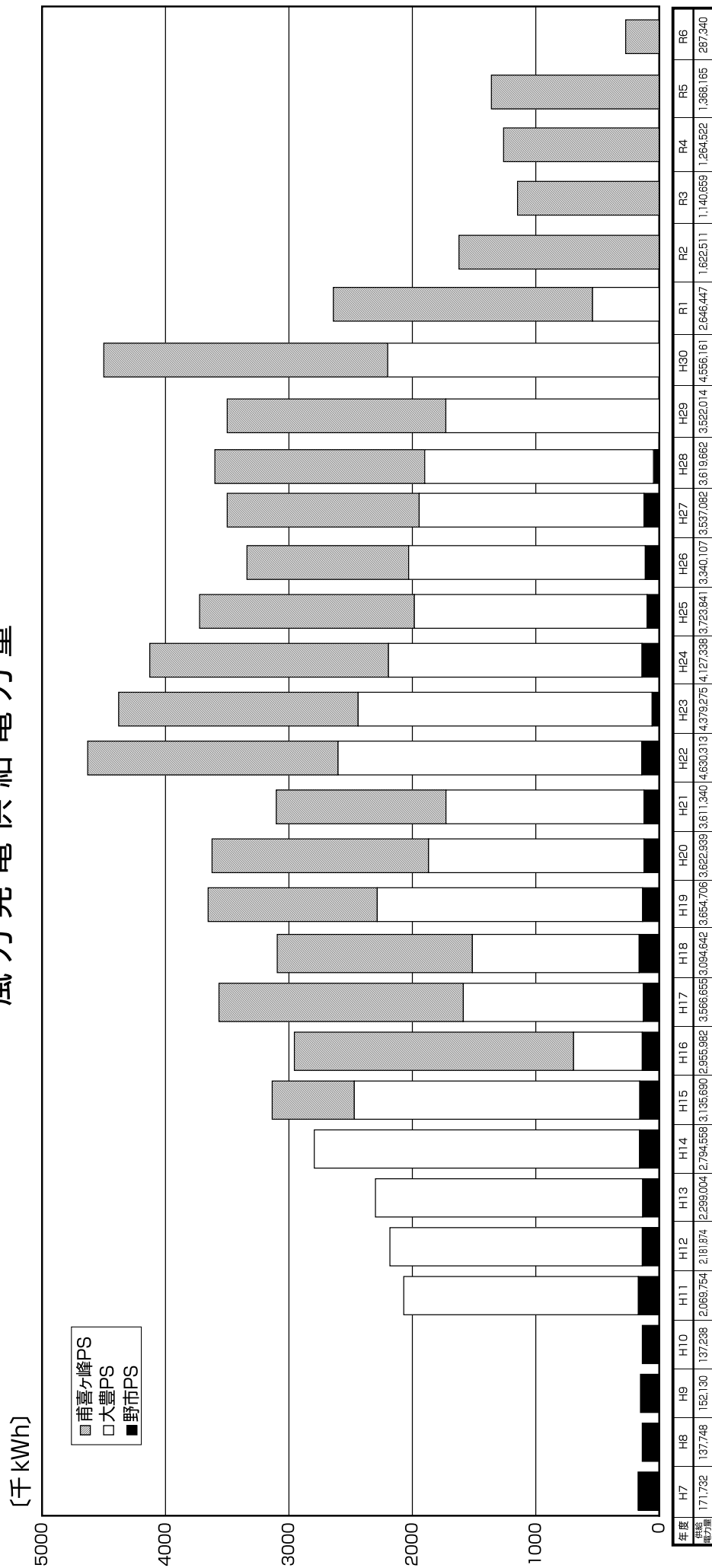
区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
甫喜ヶ峰風力発電所	1,140,659 ^{kWh}	1,264,522 ^{kWh}	1,368,165 ^{kWh}	287,340 ^{kWh}
合 計 (A)	1,140,659	1,264,522	1,368,165	287,340
供給目標 (B)	1,826,200	1,814,100	1,776,800	269,300
比較 (A) / (B)	62.5 [%]	69.7 [%]	77.0 [%]	106.7 [%]

※甫喜ヶ峰風力発電所は令和 6 年 5 月 31 日に廃止

水力発電供給電力量



風力発電供給電力量



※野市風力発電所は平成28年9月12日、大豊風力発電所は平成6年5月31日に廃止、南喜ヶ峰風力発電所は令和6年5月31日に廃止

7 電力料金の推移

吉 野 ・ 永 瀬		杉 田		合 計		料金制度
契約期間	料 金	契約期間	料 金	料 金	年 度	
昭 30. 8. 5 ～昭 31. 3. 31	227,000 ^{千円}		千円	227,000 ^{千円}	30	定 額
〳 31. 4. 1 ～ 〳 42. 3. 31	357,000			毎年度 357,000	31 ～ 33	
	357,000	昭 34. 9. 11 ～昭 35. 3. 31	102,222	459,222	34	
	357,000	〳 35. 4. 1 ～ 〳 48. 3. 31	184,000	毎年度 541,000	35 ～ 39	
	357,000	〳 40. 4. 1 ～ 〳 42. 3. 31	171,000	〳 528,000	40 ～ 41	
〳 42. 4. 1 ～ 〳 48. 3. 31	377,000	〳 42. 4. 1 ～ 〳 48. 3. 31	181,000	〳 558,000	42 ～ 47	
〳 48. 4. 1 ～ 〳 49. 3. 31	438,000	〳 48. 4. 1 ～ 〳 49. 3. 31	210,000	648,000	48	
〳 49. 4. 1 ～ 〳 50. 3. 31	479,700	〳 49. 4. 1 ～ 〳 50. 3. 31	225,300	705,000	49	
〳 50. 4. 1 ～ 〳 52. 3. 31	499,200	〳 50. 4. 1 ～ 〳 52. 3. 31	233,400	毎年度 732,600	50 ～ 51	
〳 52. 4. 1 ～ 〳 55. 3. 31	594,000	〳 52. 4. 1 ～ 〳 55. 3. 31	278,000	〳 872,000	52 ～ 54	
〳 55. 4. 1 ～ 〳 57. 3. 31	701,000	〳 55. 4. 1 ～ 〳 57. 3. 31	329,000	〳 1,030,000	55 ～ 56	
〳 57. 4. 1 ～ 〳 59. 3. 31	795,000	〳 57. 4. 1 ～ 〳 59. 3. 31	393,000	〳 1,188,000	57 ～ 58	
〳 59. 4. 1 ～ 〳 61. 3. 31	915,600	〳 59. 4. 1 ～ 〳 61. 3. 31	364,800	〳 1,280,400	59 ～ 60	
〳 61. 4. 1 ～ 〳 63. 3. 31	962,400	〳 61. 4. 1 ～ 〳 63. 3. 31	384,000	〳 1,346,400	61 ～ 62	
〳 63. 4. 1 ～平 2. 3. 31	982,800	〳 63. 4. 1 ～平 2. 3. 31	403,200	〳 1,386,000	63 ～ 元	
平 2. 4. 1 ～ 〳 4. 3. 31	1,009,800	平 2. 4. 1 ～ 〳 4. 3. 31	405,600	〳 1,415,400	2 ～ 3	
〳 4. 4. 1 ～ 〳 6. 3. 31	1,036,560	〳 4. 4. 1 ～ 〳 6. 3. 31	410,880	〳 1,447,440	4 ～ 5	
〳 6. 4. 1 ～ 〳 8. 3. 31	1,070,856	〳 6. 4. 1 ～ 〳 8. 3. 31	404,424	〳 1,475,280	6 ～ 7	

永 瀬 ・ 吉 野 ・ 杉 田		料金制度
契 約 期 間	料 金 (年 額)	
平 8. 4. 1 ～ 平 10. 3. 31	1,489,680 ^{千円}	定 額
〳 10. 4. 1 ～ 〳 12. 3. 31	1,474,212	
〳 12. 4. 1 ～ 〳 14. 3. 31	1,465,100	
〳 14. 4. 1 ～ 〳 16. 3. 31	1,396,469	定従 2 部制 (90:10)
〳 16. 4. 1 ～ 〳 18. 3. 31	1,306,791	〳 (85:15)
〳 18. 4. 1 ～ 〳 20. 3. 31	1,244,479	〳 (80:20)
〳 20. 4. 1 ～ 〳 22. 3. 31	1,218,942	〳 (80:20)
〳 22. 4. 1 ～ 〳 24. 3. 31	1,230,103	〳 (80:20)
〳 24. 4. 1 ～ 〳 26. 3. 31	1,230,034	〳 (80:20)
〳 26. 4. 1 ～ 〳 28. 3. 31	1,321,052	〳 (80:20)
〳 28. 4. 1 ～ 〳 30. 3. 31	1,429,702	〳 (80:20)
〳 30. 4. 1 ～ 令 2. 3. 31	1,440,026	〳 (80:20)
令 2. 4. 1 ～ 令 4. 3. 31	1,521,904	〳 (80:20)
令 4. 4. 1 ～ 令 6. 3. 31	1,583,989	〳 (80:20)
令 6. 4. 1 ～ 令 7. 3. 31	1,661,799	〳 (80:20)
令 7. 4. 1 ～ 令 10. 3. 31	1,944,463	〳 (80:20)

＜（注）消費税分は除く。＞

8 電気事業有料駐車場（附帯事業）

(1) 事業の概要

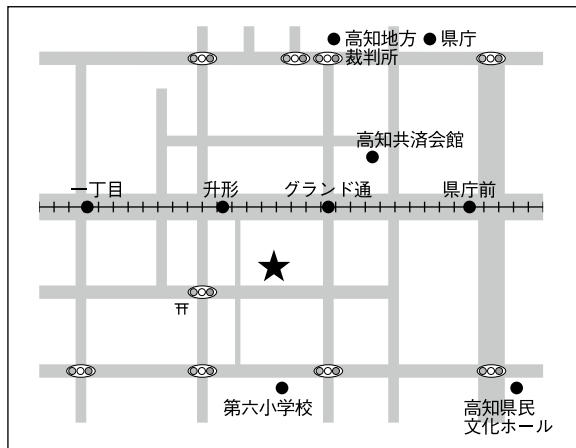
高知市升形の局長公舎及び高知市新屋敷の職員宿舎は老朽化により、使用することができなくなったため、有料駐車場として、平成23年4月から資産の有効活用を図ることとした。

升形駐車場は平成27年3月から普通車区画を12台から2台増設し、軽自動車区画とあわせて有料駐車台数15台となった。

駐車場	普通車区画	軽自動車区画	合 計	事業開始
升 形	14台（平成27年3月～）	1台	15台	平成23年4月
新屋敷	26台		26台	

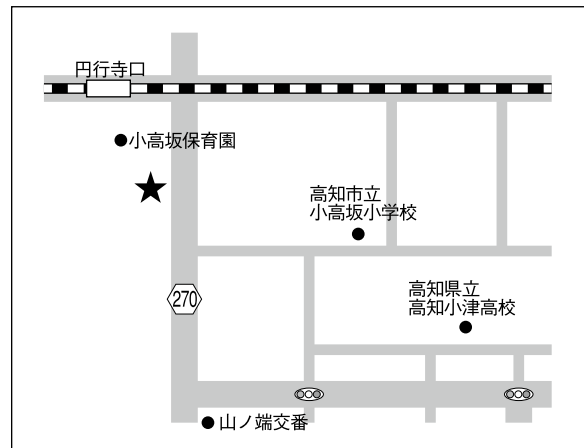
升形駐車場

所在地 高知市升形5



新屋敷駐車場

所在地 高知市新屋敷2丁目18



(2) 料金の設定

升形及び新屋敷の近隣駐車場の状況について、現地調査及び不動産業者への聞き取り調査を行い、近隣駐車場への影響も考慮して、料金を決定した。

なお、平成26年4月1日及び令和元年10月1日の消費税率引き上げにより下記のとおり変更している。

駐車場	平成23～25年度		平成26年度～令和元年9月		令和元年10月～	
	月額駐車場（税込み）					
	普通車区画	軽自動車区画	普通車区画	軽自動車区画	普通車区画	軽自動車区画
升 形	12,000円	11,000円	12,340円	11,310円	12,570円	11,520円
新屋敷	7,000円		7,200円		7,330円	

9 公営企業局の森事業

昭和28年2月に電気局として発足した当県公営企業局が、平成5年度に40周年を迎えるにあたり、「公営企業局の森事業」を開始した。

これは、水力を主なエネルギー源とする公営電気事業にとっては「水が命」であるところから、長期的な展望に立ち、広葉樹林の拡大と山の再生を図り、水源かん養林を育成するとともに、野鳥などが集う生き生きとした森を育むことを目的としたものである。

(1) 公営企業局の森事業概要（令和7年度末現在）

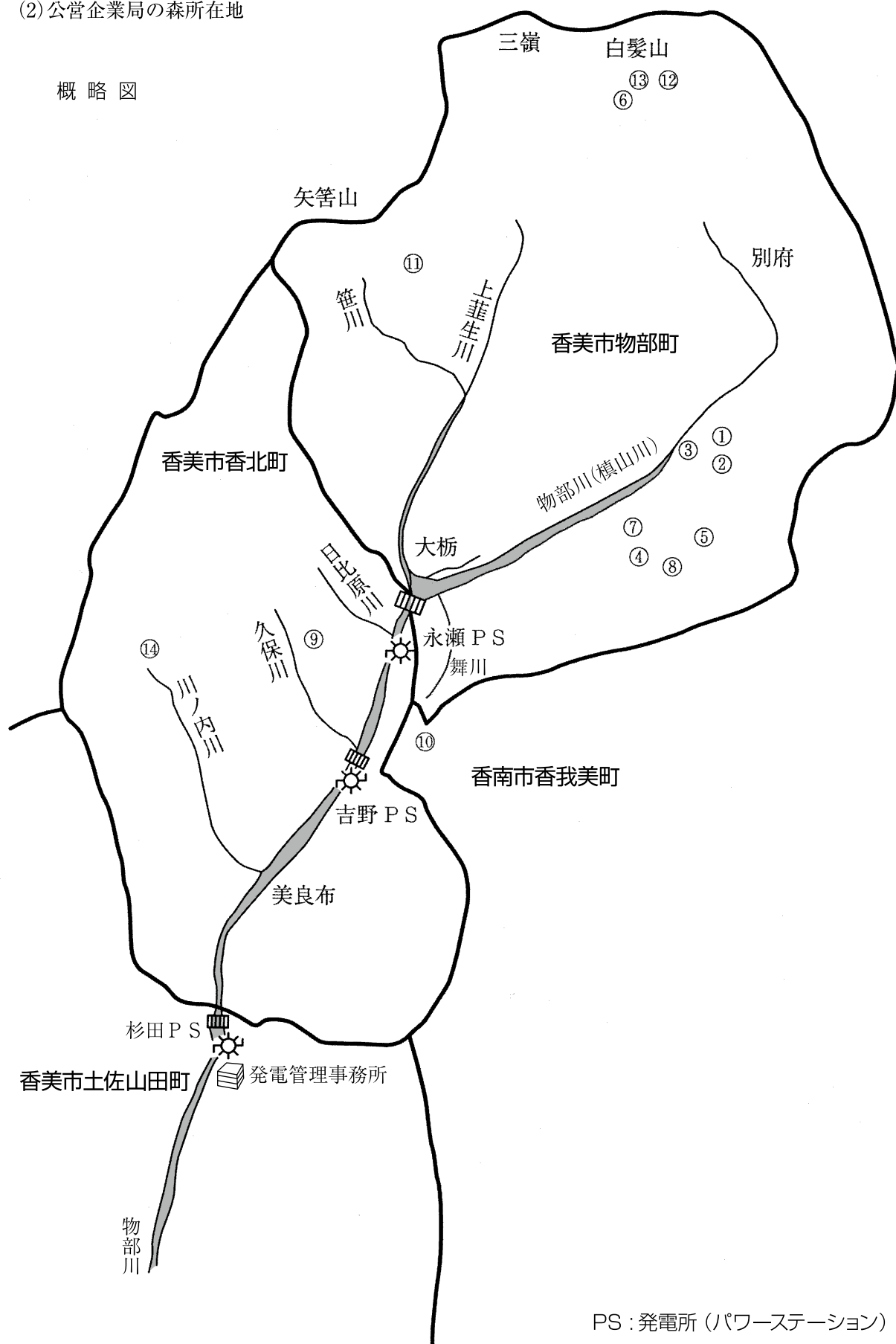
ア 購入面積 109.8 ha（14箇所）

イ 植栽実績 248,898 本

購入年度	番号	所在地	購入面積 (ha)	植栽樹種実績
平成5年度	①	香美市物部町別役	6.3	ケヤキ………… 69,085 本
	②	〃 〃 〃	1.2	トチノキ……… 32,561 本
	③	〃 〃 岡ノ内	2.7	ミズナラ …… 28,532 本
	⑤	〃 〃 〃	4.3	ヤマザクラ… 27,421 本
	⑥	〃 〃 久保影	13.0	シデ…………… 13,499 本
	小計	5 箇所	27.5	ブナ …………… 1,800 本
平成6年度	④	香美市物部町岡ノ内	2.0	シラカバ …… 1,800 本
	⑦	〃 〃 〃	2.3	イロハカエデ… 4,300 本
	⑧	〃 〃 〃	0.4	ヤマモミジ… 1,800 本
	⑨	〃 香北町大束	7.1	ダケカンバ… 1,800 本
	⑪	〃 物部町中上	28.0	ミズメ…………… 1,800 本
	⑫	〃 〃 久保影	10.1	サワグルミ……… 1,800 本
	⑩	香南市香我美町舞川	3.6	イイギリ …… 300 本
	小計	7 箇所	53.5	スギ…………… 36,250 本
平成10年度	⑬	香美市物部町久保影	3.7	ヒノキ…………… 4,650 本
	小計	1 箇所	3.7	シバグリ …… 300 本
平成13年度	⑭	香美市香北町川ノ内	25.1	クヌギ…………… 19,100 本
	小計	1 箇所	25.1	カエデ…………… 2,100 本
計	合 計		109.8	計 …………… 248,898 本
	うち 香美市物部町		74.0	
	うち 香美市香北町		32.2	
	うち 香南市香我美町		3.6	

(2) 公営企業局の森所在地

概略図



10 電気事業会計収支内訳表

(1) 収益の収支（税抜）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (当初予算税込)
収 入 (A)	1,564,336,350 ^円	1,540,106,054 ^円	1,616,097,428 ^円	1,708,519,384 ^円	2,104,144,368 ^円	2,459,307,000 ^円
支 出 (B)	1,171,148,262	1,246,691,886	1,186,445,917	1,211,659,940	1,537,792,125	1,793,233,000
純 利 益 (A) - (B)	393,188,088	293,414,168	429,651,511	496,859,444	566,352,243	666,074,000

(2) 資本の収支（税込）

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (当初予算)
収 入 (A)		円 7,058,586	円 7,059,292	円 7,059,998	円 7,183,066	円 7,061,410	円 7,062,000
支 出 (B)		199,311,810	156,695,975	156,032,773	178,187,113	508,557,481	1,521,614,000
差 引 (A) - (B)		△192,253,224	△149,636,683	△148,972,775	△171,004,047	△501,496,071	△1,514,552,000
補 て ん 財 源	減 債 積 立 金	32,509,664	33,148,560	33,800,061	34,464,414	22,776,290	21,376,000
	損益勘定留保資金	127,191,474	86,659,459	93,754,917	123,017,792	460,140,653	1,374,576,000
	中小水力発電開発 改 良 積 立 金	0	1,573,448	0	0	0	0
	地域振興積立金	19,126,738	18,726,000	11,334,671	514,483	1,856,228	15,936,000
	消費税及び地方 消費税資本の収支 調 整 額	13,425,348	9,529,216	10,083,126	13,007,358	16,722,900	102,664,000
備 考							

11 固定資産の状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電 気 事 業 固 定 資 産	水力発電設備	円 11,749,530,018	円 11,835,137,990	円 11,888,884,572	円 11,963,401,504	円 12,009,854,255
	減価償却 累計額(△)	8,186,580,569	8,376,895,902	8,554,490,247	8,691,277,646	8,796,760,218
	業 務 設 備	35,341,392	33,861,758	33,739,031	34,584,287	34,628,287
	減価償却 累計額(△)	12,035,298	11,687,955	11,962,793	11,553,318	12,100,946
	風力発電設備	382,081,659	382,069,872	382,061,012	0	0
	減価償却 累計額(△)	362,364,767	362,482,634	362,600,501	0	0
	事業外業務 設 備	8,740,643	8,740,643	8,740,643	8,740,643	8,740,643
	減価償却 累計額(△)	8,303,610	8,303,610	8,303,610	8,303,610	8,303,610
	小 計	3,606,409,468	3,500,440,162	3,376,068,107	3,295,591,860	3,236,058,411
固 定 資 産 仮 勘 定	建設仮勘定	0	1,573,448	31,597,435	31,597,435	49,146,786
	小 計	0	1,573,448	31,597,435	31,597,435	49,146,786
投 資 そ の 他 の 資 産	投資有価証券	617,780,968	590,341,458	939,607,221	907,463,795	1,670,407,528
	長期貸付金	105,963,534	98,904,242	91,844,244	84,783,540	77,722,130
	小 計	723,744,502	689,245,700	1,031,451,465	992,247,335	1,748,129,658
固 定 資 産 合 計		4,330,153,970	4,191,259,310	4,439,117,007	4,319,436,630	5,033,334,855

12 企業債の状況

区 分	令和3年度末 未償還残高	令和4年度末 未償還残高	令和5年度末 未償還残高	令和6年度末 未償還残高	令和7年度末 未償還残高
財 務 省	172,216,259 ^円	152,438,708 ^円	132,273,200 ^円	111,712,091 ^円	90,747,587 ^円
地方公共団体 金 融 機 構	42,720,653	29,349,644	15,715,091	1,811,786	0
合 計	214,936,912	181,788,352	147,988,291	113,523,877	90,747,587

工業用水道事業



Ⅲ 工業用水道事業

1 鏡川工業用水道事業

(1) 事業の概要

県営鏡川工業用水道事業は鏡川総合開発の一環として計画されたもので、その根幹をなす鏡ダム（多目的ダム）からの流水を廊中堰付近で伏流水として取水する。

既に地下水の汲みあげが飽和状態となり海水の浸入がはなはだしい港地区臨海工業地帯の転用水として供給するとともに、工場増設等の促進を図る目的で建設したものである。

建設工事は、給水能力 55,800 m³/日の計画をもって昭和 39 年 4 月に着手し昭和 41 年 11 月から逐次給水を開始しつつ、昭和 44 年 3 月をもって一切の工事を完了した。その後、新たな需要を背景に、仁井田、北タナスカ地区への配水管延長及び港地区への配水管増設を行った。

(2) 鏡川総合開発事業の概要

（数値は工事完了時の昭和 43 年度現在）

鏡ダム事業費負担内訳

区 分	負担率 [%]	負担すべき額 [千円]	備 考
総事業費	100.00	1,600,000	
公共事業（治水）	81.07	1,297,120	
都市用水	17.63	282,080	
上水道用水（高知市）	11.66	186,560	取水量 20,000 m ³ /日
工業用水（高知県）	5.97	95,520	取水量 60,000 m ³ /日
電気事業（四国電力(株)）	1.30	20,800	最大出力 3,300 kW

工業用水道事業費内訳

（単位：千円）

区 分	建設費	給水区域
総事業費	744,235	高知市
鏡ダム共同工事負担金 （工業用水事業負担金）	95,520	
工業用水道専用事業費	648,715	

なお、昭和 53 年 12 月高知分水事業の完成に伴い鏡ダムの分担割合が次のとおり変更された。

(単位：%)

区 分	治水事業 (県)	工業用水道事業 (公営企業局)	上水道事業 (高知市)	発電事業 (四国電力株式会社)
変更前の分担率	81.07	5.97	11.66	1.30
変更後の分担率	80.33	6.28	12.09	1.30

注：平成 19 年 3 月高知分水事業の知事部局への移管に伴い工業用水道事業の分担率が次のとおり変更された。

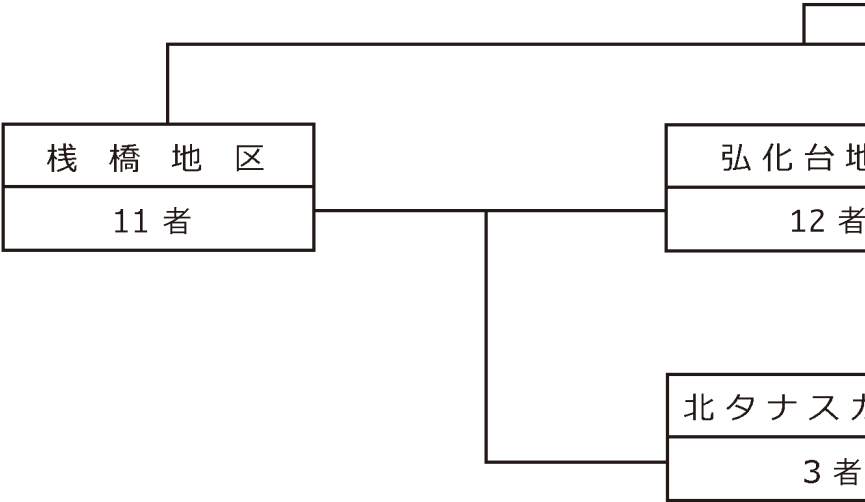
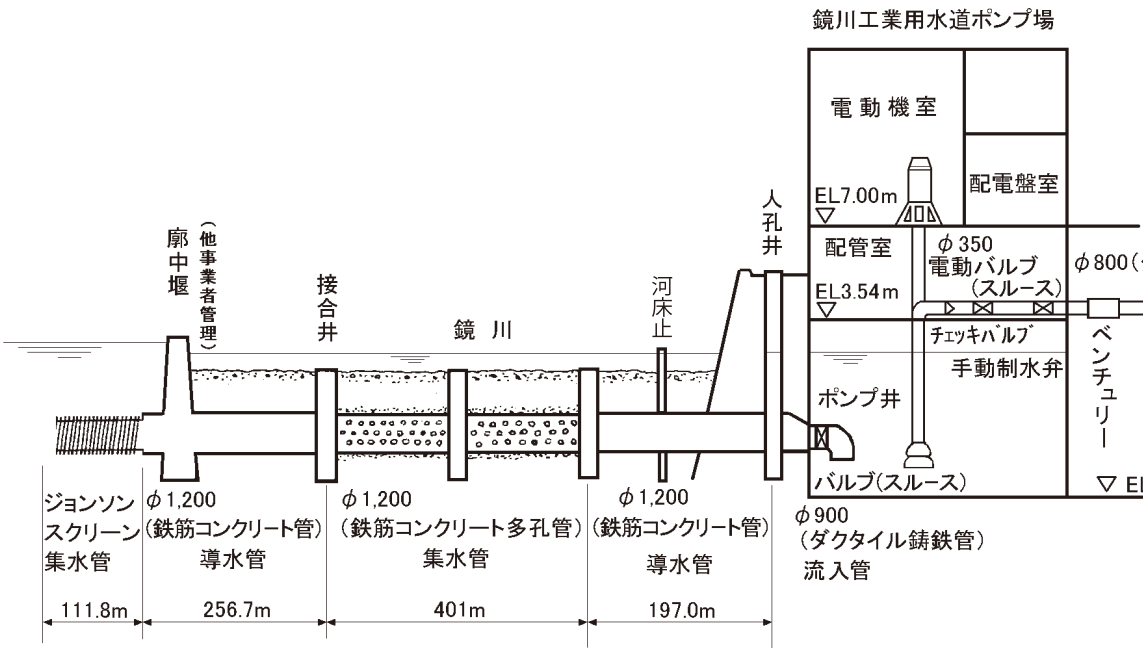
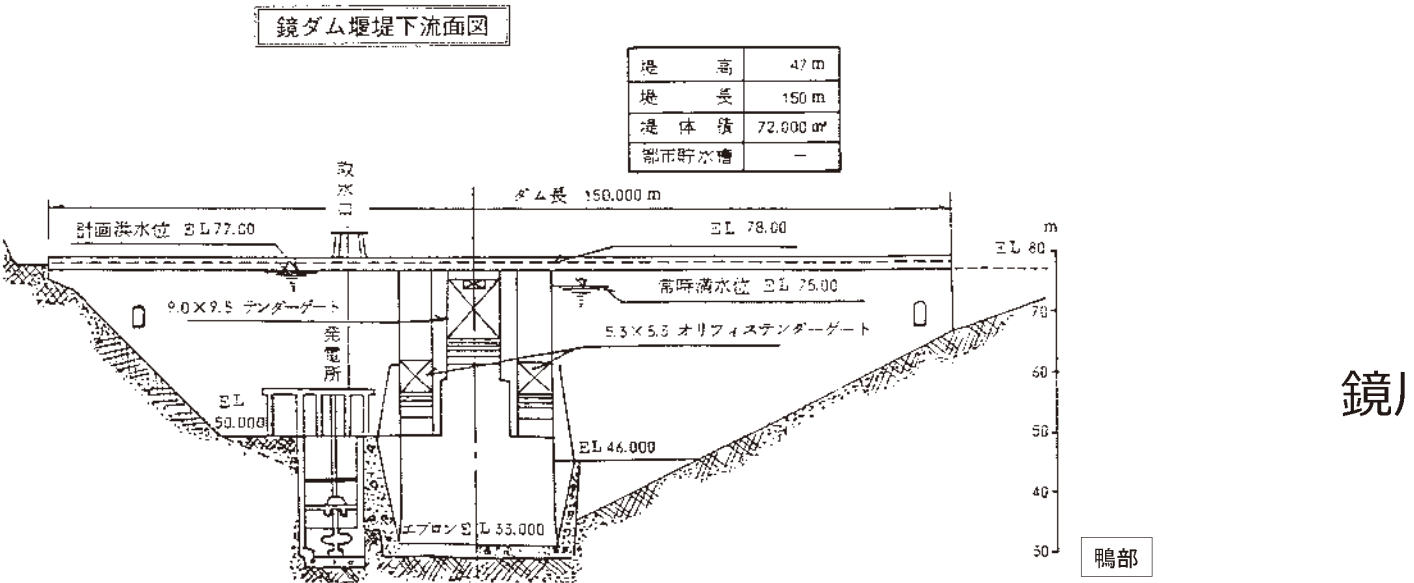
工業用水道事業	公営企業局 (鏡川工業用水道分)	知事部局 (高知分水分)
変更後の分担率	5.91	0.37

(3)施設の概要

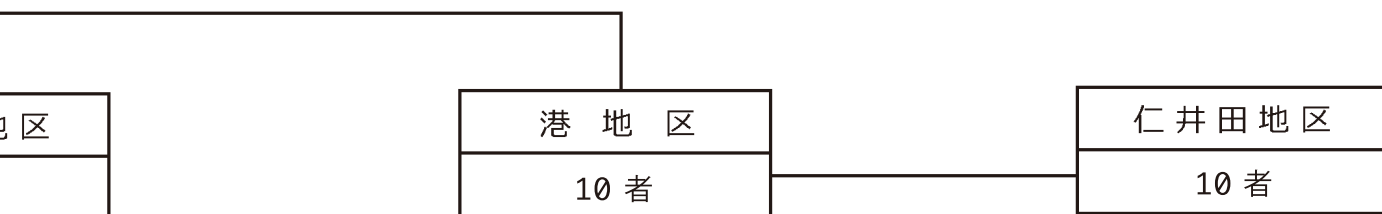
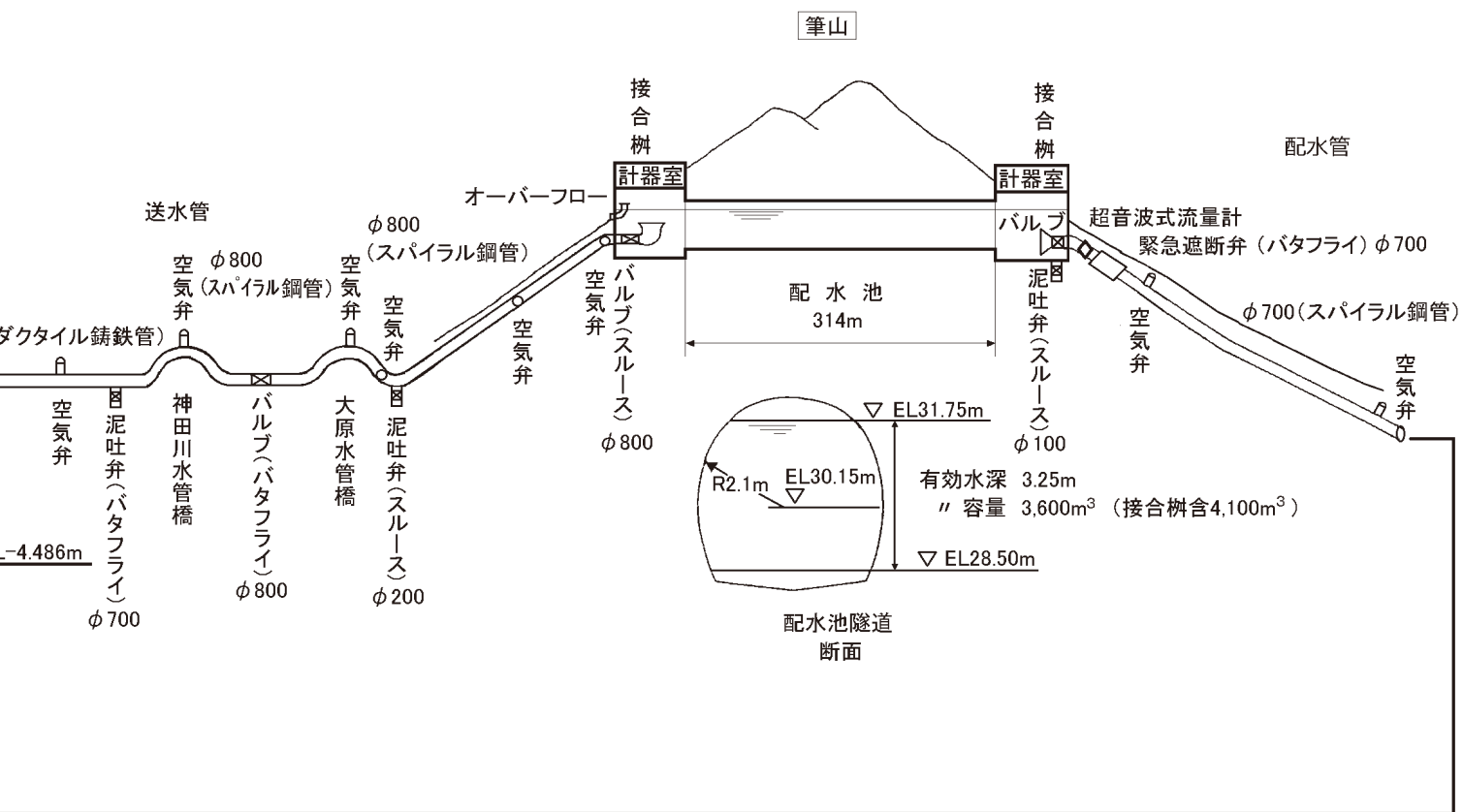
種 別		内 容			備 考
給 水 区 域		高知市〔港地区、棧橋地区、弘化台地区、仁井田地区〕 北タナスカ地区			
水 源		鏡川（伏流水）			
最大取水量		60,000m ³ ／日 0.6945m ³ ／s			
給 水 能 力		55,800m ³ ／日			
取水施設	河 床 止	カーテンウォール幅2.0×1.2×90.1m、十字ブロック上流2連、下流3連 ホロスケヤブロック2連、止水簡易鋼矢板 H 3m×90.1m			
	集 水 管	遠心力鉄筋コンクリート多孔管φ 1,200mm×延長 401m ジョンソンスクリーンφ 1,000mm×延長 111.8m			
	接 合 井	鉄筋コンクリート造 φ 3.0m×深 6.0m … 2井 φ 3.0m×深 5.0m … 1井 φ 2.5m×深 5.0m … 2井 φ 2.5m×深 10.5m … 1井 □ 2.5m×4.5×5.0 … 2井			
導水施設	導 水 管	遠心力鉄筋コンクリート管 φ 1,200mm×延長 256.7m 計 453.7m φ 1,200mm× 197.0m			
	人 孔 井	鉄筋コンクリート造 φ 3.0m×深 8.9m 1井			
送水施設	送水ポンプ井	鉄筋コンクリート造 幅 9.8m×長 17.8m×深 11.8m 1井			
	電 動 機 室	鉄筋コンクリート造 2階建 18m×10m 1棟			
	送水ポンプ	立型斜流ポンプφ 350mm×14m ³ /分×H43.0m 4台（内1台予備）			
	送 水 管	モルタルライニングダクトイル鑄鉄管（一部銅管） φ 800mm×延長 2,668.7m			
配水施設	配 水 池	隧道式馬蹄型内径 4.2m 延長 314m 有効容量 4,100m ³			
	配 水 管	モルタルライニングダクトイル鑄鉄管（一部銅管） φ 700mm～φ 100mm×延長 12,980.2m			
総 事 業 費		1,280,617 千円（平成 15 年度現在） 〔744,235 千円（昭和 43 年度現在）〕			S 50 年度 42,942 千円 S 57 年度 62,403 千円 H 15 年度 431,037 千円
工 事 期 間		昭和 39 年 4 月～昭和 44 年 3 月			S 50 年度増設（仁井田） S 57 年度増設（北タナスカ） H 15 年度増設（港地区）
給 水 開 始		昭和 44 年 4 月（昭和 41 年 11 月から一部給水開始）			
水 質 （給水開始時）	水 温（℃）	濁 度（ppm）	pH	アルカリ度（ppm）	
	17	1.0	7.0	42	
	全 硬 度（ppm）	蒸発残留物（ppm）	塩素イオン（ppm）	全 鉄（ppm）	
	45	71	10.6	0.018	

(4)施設の概要図

(令和 8 年 4 月現在)

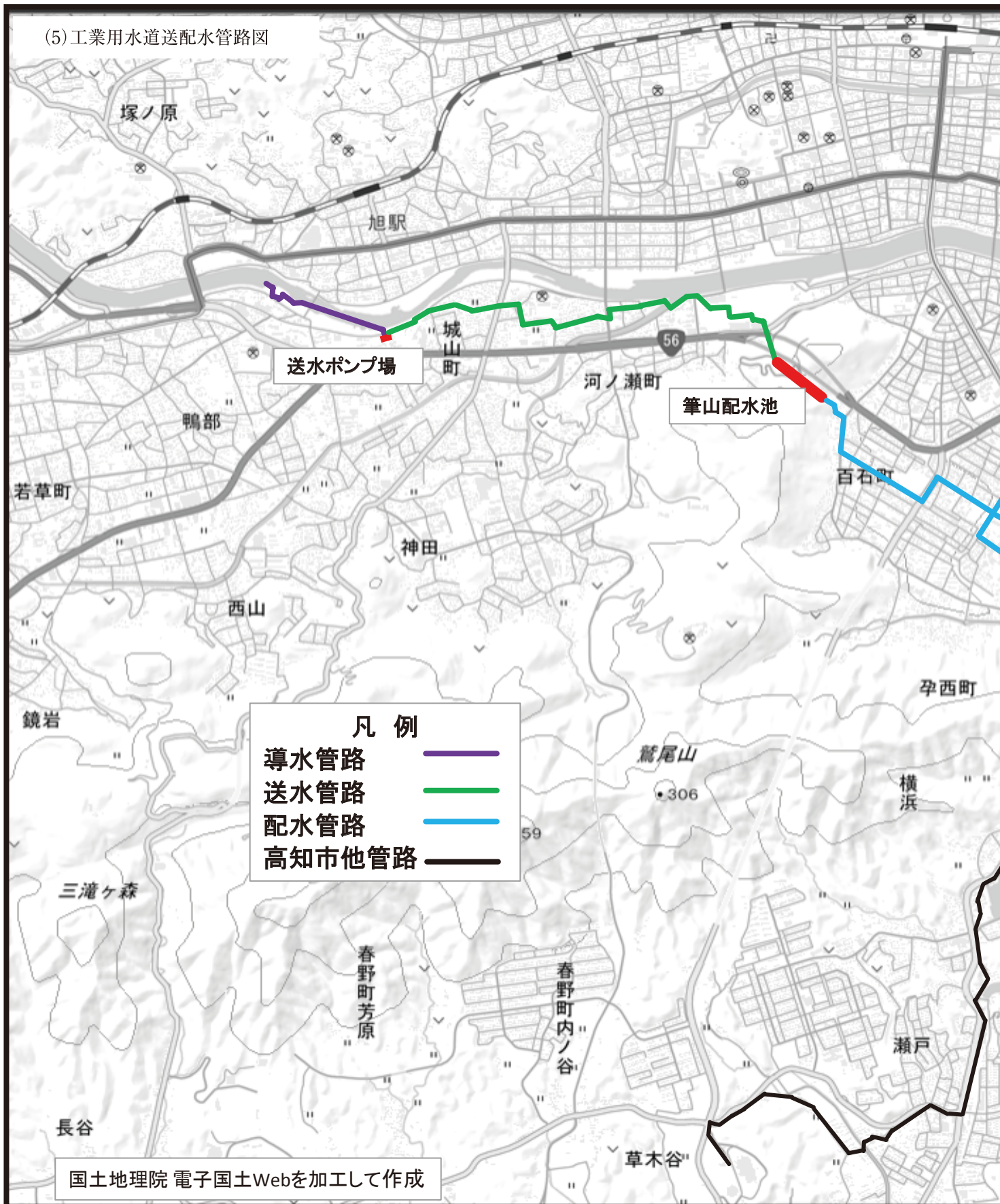


川工業用水道 施設概要図



合計 46 者

(5)工業用水道送配水管路図





(6)給水契約の推移

区 分		昭和 41 年度		昭和 42 年度		昭和 43 年度		昭和 44 年度		昭和 45 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 8,425,800	m ³ 55,800	m ³ 22,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		1,419,523	9,401	5,553,475	15,173	7,202,880	19,734	8,284,040	22,696	9,519,380	26,080
給 実 績 水 量		1,489,085	9,862	6,103,752	16,677	6,911,356	18,935	8,381,329	22,963	11,643,837	31,901
比 率 (%)	実績 ／ 予定	104.9	—	109.9	—	96.0	—	101.2	—	122.3	—
	実績 ／ 能力	17.7	—	29.9	—	33.9	—	41.2	—	57.2	—

区 分		昭和 46 年度		昭和 47 年度		昭和 48 年度		昭和 49 年度		昭和 50 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		14,600,000	39,891	15,695,000	43,000	16,425,000	45,000	15,804,500	43,300	16,060,000	43,880
給 実 績 水 量		15,363,783	41,978	16,068,538	44,023	15,809,405	43,313	15,842,482	43,404	15,901,300	43,446
比 率 (%)	実績 ／ 予定	105.2	—	102.4	—	96.3	—	100.2	—	99.0	—
	実績 ／ 能力	75.2	—	78.9	—	77.6	—	77.8	—	77.9	—

区 分		昭和 51 年度		昭和 52 年度		昭和 53 年度		昭和 54 年度		昭和 55 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		16,790,000	46,000	13,067,000	35,800	14,089,000	38,600	13,541,500	36,999	15,015,940	41,140
給 実 績 水 量		12,790,025	35,041	14,237,433	39,007	13,465,184	36,891	14,391,580	39,321	14,731,888	40,361
比 率 (%)	実績 ／ 予定	76.2	—	109.0	—	95.6	—	106.3	—	98.1	—
	実績 ／ 能力	62.8	—	69.9	—	66.1	—	70.5	—	72.3	—

区 分		昭和 56 年度		昭和 57 年度		昭和 58 年度		昭和 59 年度		昭和 60 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		14,112,860	38,665	14,373,742	39,380	13,764,596	37,608	12,038,720	32,983	12,140,920	33,263
給 実 績 水 量		14,268,142	39,091	13,558,177	37,146	13,750,200	37,569	12,346,665	33,826	12,610,862	34,550
比 率 (%)	実績 ／ 予定	101.1	—	94.3	—	99.9	—	102.6	—	103.9	—
	実績 ／ 能力	70.1	—	66.6	—	67.3	—	60.6	—	61.9	—

区 分		昭和 61 年度		昭和 62 年度		昭和 63 年度		平成元年度		平成 2 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		12,550,720	34,386	11,925,792	32,584	10,817,505	29,637	10,854,735	29,739	10,757,645	29,473
給 実 績 水 量		12,650,240	34,658	11,092,231	30,307	10,462,757	28,665	10,558,037	28,926	10,337,459	28,322
比 率 (%)	実績 ／ 予定	100.8	—	93.0	—	96.7	—	97.3	—	96.1	—
	実績 ／ 能力	62.1	—	54.3	—	51.4	—	51.8	—	50.8	—

区 分		平成 3 年度		平成 4 年度		平成 5 年度		平成 6 年度		平成 7 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		11,263,650	30,775	11,342,375	31,075	11,163,160	30,584	10,126,560	27,744	10,095,744	27,584
給 実 績 水 量		10,861,876	29,677	10,697,375	29,308	10,767,455	29,500	9,666,872	26,485	9,793,731	26,758
比 率 (%)	実績 ／ 予定	96.4	—	94.3	—	96.5	—	95.5	—	97.0	—
	実績 ／ 能力	53.2	—	52.5	—	52.9	—	47.5	—	48.0	—

区 分		平成 8 年度		平成 9 年度		平成 10 年度		平成 11 年度		平成 12 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		9,798,285	26,844	10,334,975	28,315	10,865,685	29,769	10,106,724	27,614	9,591,470	26,278
給 実 績 水 量		9,876,935	27,060	10,210,081	27,972	10,002,781	27,405	9,633,739	26,321	9,171,961	25,128
比 率 (%)	実績 ／ 予定	100.8	—	98.8	—	92.1	—	95.3	—	95.6	—
	実績 ／ 能力	48.5	—	50.1	—	49.1	—	47.2	—	45.0	—

区 分		平成 13 年度		平成 14 年度		平成 15 年度		平成 16 年度		平成 17 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		9,306,040	25,496	8,508,515	23,311	8,348,094	22,809	9,854,635	26,999	12,241,370	33,538
給 実 績 水 量		8,820,172	24,164	8,489,241	23,258	8,722,315	23,831	10,809,050	29,614	11,916,474	32,648
比 率 (%)	実績 ／ 予定	94.7	—	99.8	—	104.5	—	109.7	—	97.3	—
	実績 ／ 能力	43.3	—	41.7	—	42.7	—	53.1	—	58.5	—

区 分		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		11,008,400	30,160	10,247,010	27,997	10,009,030	27,422	10,255,040	28,096	9,994,795	27,383
給 実 績 水 量		10,856,092	29,743	10,778,499	29,449	10,465,837	28,674	10,172,422	27,870	10,033,349	27,489
比 率 (%)	実績 ／ 予定	98.6	—	105.2	—	104.6	—	99.2	—	100.4	—
	実績 ／ 能力	53.3	—	52.8	—	51.4	—	49.9	—	49.3	—

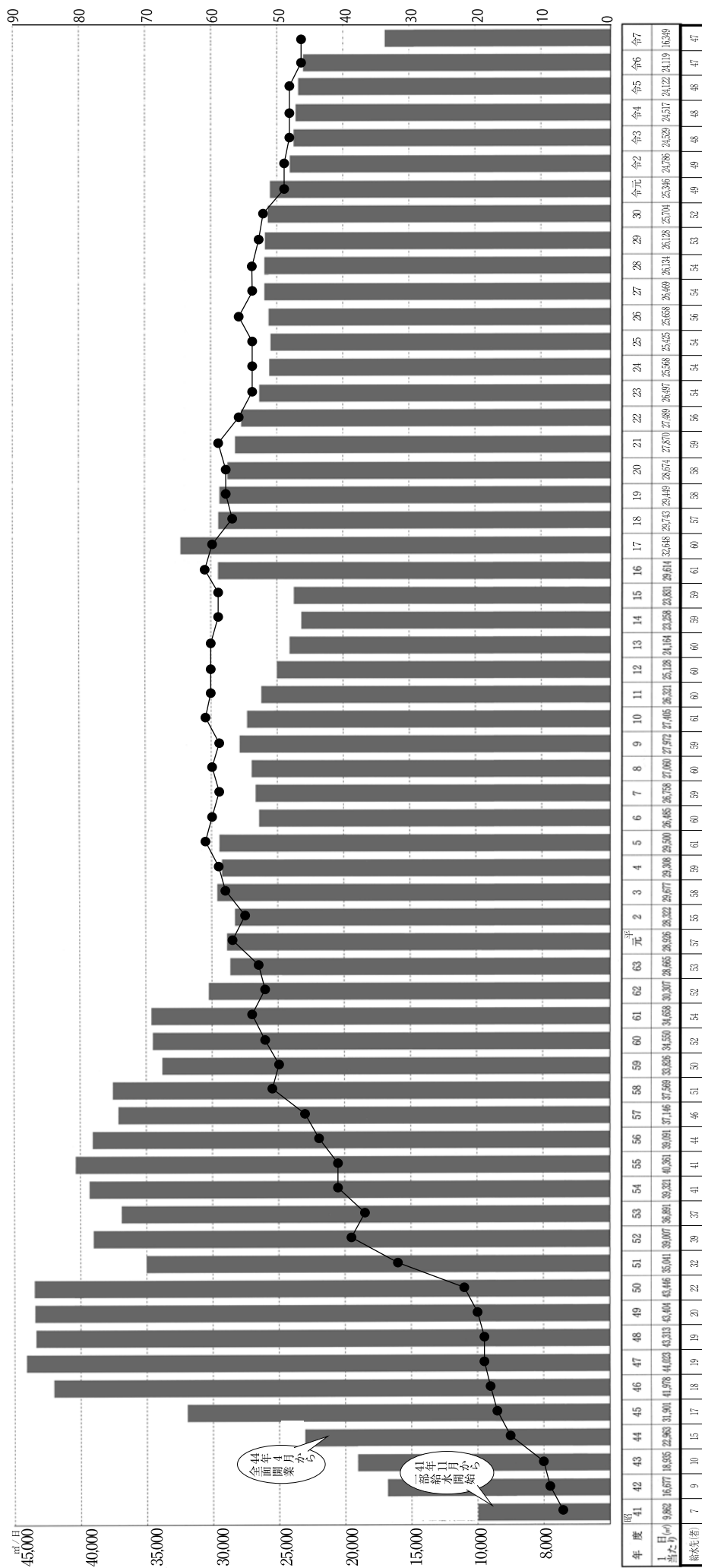
区 分		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		9,864,125	26,951	9,608,625	26,325	9,150,915	25,071	9,178,290	25,146	9,470,616	25,876
給 実 績 水 量		9,697,728	26,497	9,332,266	25,568	9,279,954	25,425	9,365,044	25,658	9,687,571	26,469
比 率 (%)	実績 ／ 予定	98.3	—	97.1	—	101.4	—	102.0	—	102.3	—
	実績 ／ 能力	47.5	—	45.8	—	45.6	—	46.0	—	47.4	—

区 分		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		9,433,790	25,846	9,408,240	25,776	9,448,390	25,886	9,267,120	25,320	9,156,025	25,085
給 実 績 水 量		9,539,041	26,134	9,536,697	26,128	9,382,004	25,704	9,276,770	25,346	9,046,922	24,786
比 率 (%)	実績 ／ 予定	101.1	-	101.4	-	99.3	-	100.1	-	98.8	-
	実績 ／ 能力	46.8	-	46.8	-	46.1	-	45.4	-	44.4	-

区 分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,422,800	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800	m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		8,941,770	24,498	8,847,600	24,240	8,874,036	24,246	8,690,285	23,809	5,810,800	15,920
給 実 績 水 量		8,953,158	24,529	8,948,849	24,517	8,828,727	24,122	8,803,392	24,119	5,967,420	16,349
比 率 (%)	実績 ／ 予定	100.1	—	101.1	—	99.5	—	101.3	—	102.7	—
	実績 ／ 能力	44.0	—	43.9	—	43.2	—	43.2	—	29.3	—

区 分		令和8年度 (予定)	
		年 間	1 日 当たり
給水能力		m ³ 20,367,000	m ³ 55,800
給 予 定 水 量		5,572,820	15,268
給 実 績 水 量		—	—
比 率 (%)	実績 ／ 予定	—	—
	実績 ／ 能力	—	—

給水実績



(7)給水料金の推移

区分	料 率 (1 m ³ 当たり)						
	昭 41年度～ 45年度 (41年11月1日)	46年度～ 49年5月 (46年4月1日 改 定)	49年6月～ 50年度 (49年6月1日 改 定)	51年度～ 57年10月 (51年4月1日 改 定)	57年11月～ 63年度 (57年11月1日 改 定)	平 元年度～ 令6年度 (元年4月1日 改 定)	令 7年度～ (7年4月1日 改 定)
基本 料金	4.0 円	4.5 円	6.0 円	10.0 円	13.0 円	16.0 円	18.0 円
特定 料金	4.0	4.5	6.0	10.0	13.0	16.0	18.0
超過 料金	8.0	9.0	12.0	20.0	26.0	32.0	36.0

＜(注)消費税等分は除く。＞

2 工業用水道事業有料駐車場（附帯事業）

(1) 事業の概要

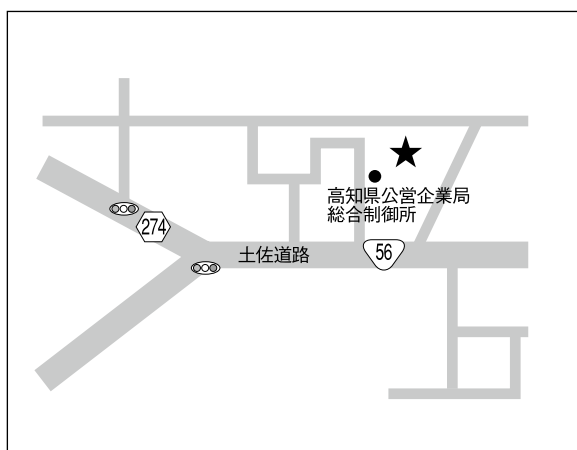
平成12年3月から、総合制御所東側の工業用水道の拡張施設用地の有効活用を図るため、工業用水を使用するコイン式洗車場を併設した月決め有料駐車場を工業用水道事業の附帯事業として始めた。

平成27年3月に、併設するコイン式洗車場を廃止し、そのスペースを活用して有料駐車場を50台から61台（11台増）に規模を拡大した。

駐車場	普通車区画	合 計	事業開始
鴨 部	61台（平成27年3月～）	61台	平成12年3月

鴨部駐車場

所在地 高知市城山町272-1



(2) 料金の設定

近隣駐車場の状況について、聞き取り調査を行い、近隣駐車場への影響も考慮して、料金を決定した。
なお、平成26年4月1日及び令和元年10月1日の消費税率引き上げにより以下のとおり変更している。

駐車場	平成12年3月～平成26年3月	平成26年4月～令和元年9月	令和元年10月～
	月額駐車料金（税込み）		
	普通車区画	普通車区画	普通車区画
鴨 部	6,000円	6,170円	6,290円

3 香南工業用水道事業

(1) 事業の概要

香南工業用水道事業は、香南地域（香南市香我美町・同市赤岡町）の工業団地に進出をしている企業の事業拡張や新たな進出企業の工業用水需要に対処するため、地下水を水源とし、最大8,000 m³/日の工業用水を供給する計画で、平成9年9月に建設工事に着手し、主要施設は平成14年3月に完成した。企業の事業計画の見通しが立たない状況が続いたことから、長期間未稼働の状態であったが、北部工業団地に立地する企業から、事業拡大に伴う給水要請があり、平成24年7月から936m³/日の給水を開始した。

平成30年度に入り、川谷刈谷工業団地の既存企業の工場撤退と別企業への工場の譲渡を契機に、同工場への工業用水の安定的な給水確保のために、香南市の工業用水道事業と統合し、県が主体となって事業運営を行うこととした。一部給水にとどまっていた県施設について必要な整備を行うとともに、市資産の一部を譲り受け、令和元年12月より本格稼働を開始した。

(2) 工業用水供給計画

(イ) 供給区域

- ・香南市香我美町に造成している川谷刈谷工業団地
- ・香南市赤岡町に造成している北部工業団地

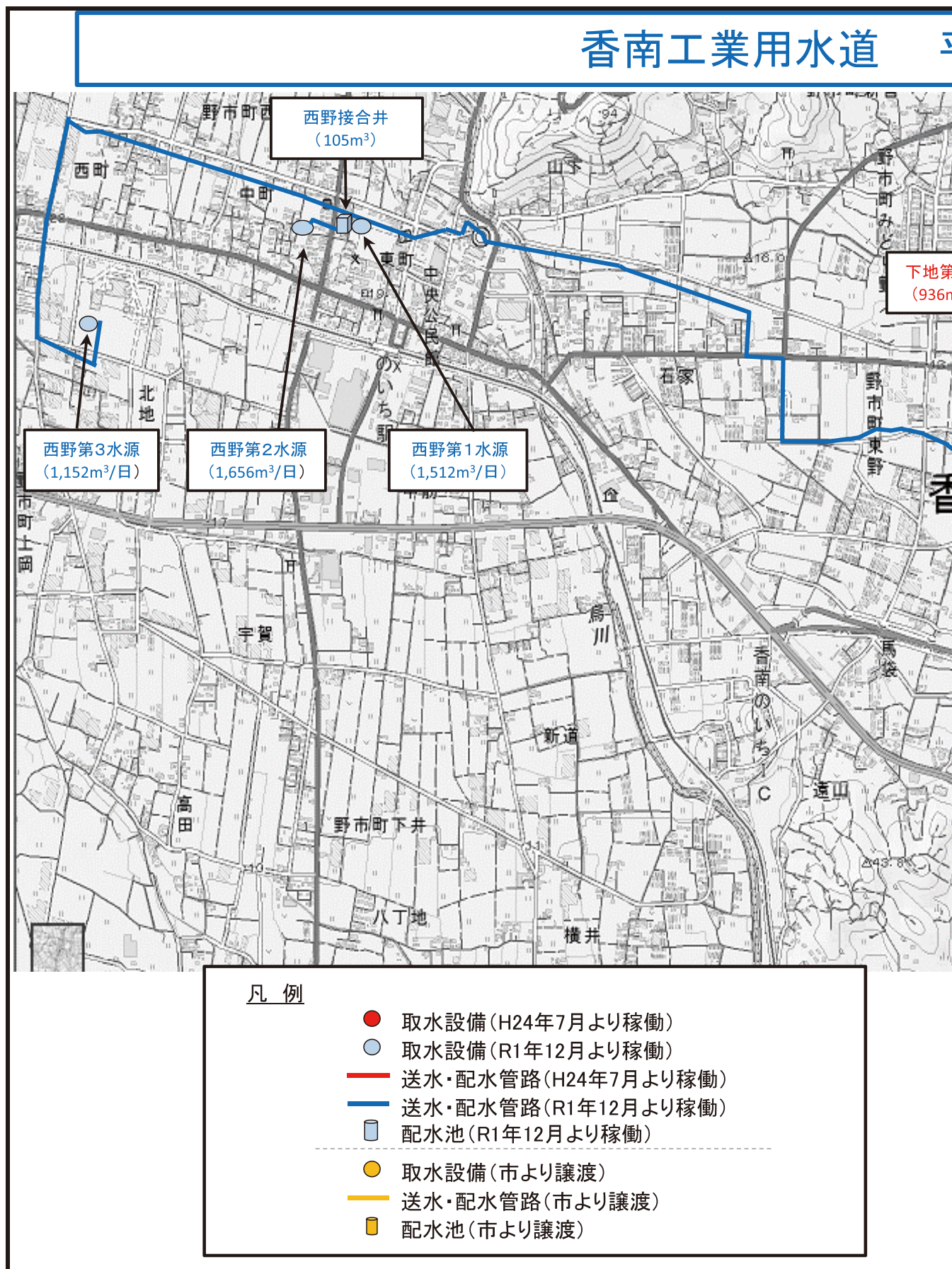
(ロ) 需要水量

- ・川谷刈谷工業団地 6,000 m³/日
- ・北部工業団地 2,000 m³/日

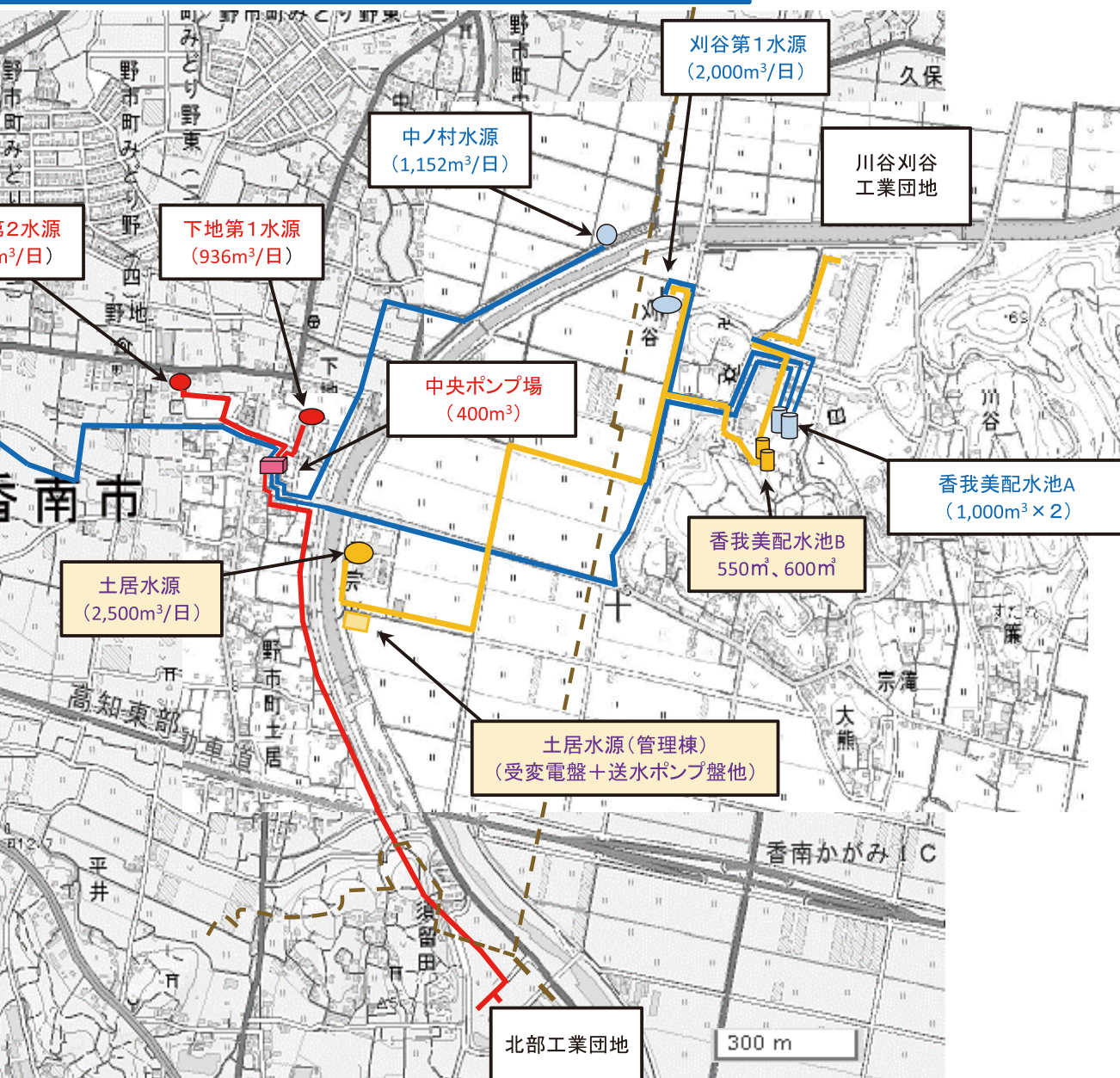
(3) 主要施設の概要

施設名	名 称	設 備 諸 元 (ポンプ・給水量・管路長)	構 造	備 考
取水施設	西野第1水源	φ 100 11kW 1,210m ³ /日	炭素鋼鋼管 φ 350 × 41.5 m	同一敷地内に西野接合井
	西野第2水源	φ 100 7.5kW 1,100 〃	炭素鋼鋼管 φ 350 × 37.3 m	
	西野第3水源	φ 80 11kW 830 〃	炭素鋼鋼管 φ 350 × 31.0 m	
	下地第1水源	φ 65 2.2kW 750 〃	鉄筋コンクリート φ 2,000 × 5.9 m	
	下地第2水源	φ 65 2.2kW 750 〃	鉄筋コンクリート φ 2,000 × 5.9 m	
	中ノ村水源	φ 80 5.5kW 870 〃	炭素鋼鋼管 φ 350 × 17.8 m	
	刈谷水源	φ 100 18.5kW 1,500 〃	鉄筋コンクリート φ 3500 × 5.7 m	
配水施設	配水池	直径 11.5m × 高 11.45m × 2 基 (1,000m ³)	P C タンク (円筒型)	
	配水管	333.2 m	D C I P 管 φ 300	
	〃	195.3 m	D C I P 管 φ 200	
	〃	1139.9 m	H I V P 管 φ 200	
送水施設	接合井	8.0m × 6.0m × 7.8 m	鉄筋コンクリート	
	中央ポンプ場	15.5m × 6.75m × 5.6m φ 125 30kW φ 80 3.7kW	鉄筋コンクリート 片吸込渦巻ポンプ 〃	
	推進管	99.9 m	鉄筋コンクリート管 φ 1,500	
	橋梁添架管	27.9 m	N C P 管 φ 300	
		34.8 m	S U S 304 管 φ 150	
	送水管	4555.0 m	D C I P 管 φ 300	
	〃	173.4 m	H I V P 管 φ 300	
	〃	923.1 m	D C I P 管 φ 200	
	〃	3030.8 m	D C I P 管 φ 150	
	〃	566.7 m	H I V P 管 φ 150	
総 事 業 費		2,246,669,016 円 (平成 14 年 3 月)		
工 事 期 間		平成 9 年 9 月～平成 14 年 3 月		

(7) 香南工業用水道施設概要図



平面図



(8)給水契約の推移

区 分		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		年 間	1 日 当 たり	年 間	1 日 当 たり	年 間	1 日 当 たり	年 間	1 日 当 たり	年 間	1 日 当 たり
給水能力		m ³ 256,464	m ³ 936	m ³ 341,640	m ³ 936	m ³ 341,640	m ³ 936	m ³ 342,576	m ³ 936	m ³ 341,640	m ³ 936
給 予 定 水 量		256,464	936	341,640	936	341,640	936	342,576	936	341,640	936
給 実 績 水 量		256,464	936	341,640	936	341,640	936	342,576	936	341,640	936
比 率 (%)	実績 ／ 予定	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
	実績 ／ 能力	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	

※平成24年7月一部給水開始

区 分		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		年 間	1 日 当 たり	年 間	1 日 当 たり	年 間	1 日 当 たり	年 間	1 日 当 たり	年 間	1 日 当 たり
給水能力		m ³ 341,640	m ³ 936	m ³ 341,640	m ³ 936	m ³ 1,204,384	m ³ 3,291	m ³ 2,920,000	m ³ 8,000	m ³ 2,920,000	m ³ 8,000
給 予 定 水 量		341,640	936	341,640	936	545,096	1,489	1,436,640	3,936	1,090,255	2,987
給 実 績 水 量		341,640	936	341,640	936	411,600	1,125	979,992	2,685	985,848	2,701
比 率 (%)	実績 ／ 予定	100.0%		100.0%		75.5%		68.2%		90.4%	
	実績 ／ 能力	100.0%		100.0%		34.2%		33.6%		33.8%	

※令和元年12月給水開始

区 分		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度 (予定)	
		年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり	年 間	1 日 当たり
給水能力		m³ 2,920,000	m³ 8,000	m³ 2,928,000	m³ 8,000	m³ 2,920,000	m³ 8,000	m³ 2,920,000	m³ 8,000	m³ 2,920,000	m³ 8,000
給 予 定 水 量		977,105	2,677	983,076	2,686	985,500	2,700	1,222,750	3,350	1,180,410	3,234
給 実 績 水 量		981,264	2,688	997,248	2,725	1,025,568	2,810	1,159,800	3,178	—	—
比 率 (%)	実績 ／ 予定	100.4		101.4		104.1		94.9		—	
	実績 ／ 能力	33.6		34.1		35.1		39.7		—	

4 工業用水道事業会計収支内訳表

(1) 収益の収支（税抜）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (当初予算税込)
収 入 (A)	278,175,511 ^円	295,364,405 ^円	276,082,022 ^円	277,783,499 ^円	247,865,625 ^円	250,271,000 ^円
支 出 (B)	232,235,216	246,333,545	248,162,164	249,523,807	226,423,507	292,894,000
純利益 (A) - (B)	45,940,295	49,030,860	27,919,858	28,259,692	21,442,118	△42,623,000

(2) 資本の収支（税込）

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (当初予算)
収 入 (A)		円 0	円 0	円 0	円 20,726	円 0	円 64,780,000
支 出 (B)		85,983,534	55,999,554	49,434,708	67,578,243	67,139,779	169,892,000
差 引 (A) - (B)		△85,983,534	△55,999,554	△49,434,708	△67,557,517	△67,139,779	△105,112,000
補 て ん 財 源	減債積立金	21,116,872	21,485,009	21,859,662	22,240,951	22,628,993	20,944,000
	損益勘定留保資金	58,981,384	25,706,536	25,504,045	19,126,237	12,886,298	71,360,000
	建設改良積立金	630,000	6,830,185	206,000	22,714,111	28,220,000	0
	消費税及び地方消費税資本の収支調整額	5,255,278	1,977,824	1,865,001	3,476,218	3,404,488	12,808,000
備 考							

5 固定資産の状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
有形固定資産	給 水 設 備	5,565,086,508 ^円	5,577,493,312 ^円	5,581,043,286 ^円	5,605,550,691 ^円	5,609,223,478 ^円
	減価償却累計額 (△)	2,696,989,058	2,824,438,656	2,955,180,239	3,082,710,308	3,219,813,768
	小 計	2,868,097,450	2,753,054,656	2,625,863,047	2,522,840,383	2,389,409,710
仮勘定 固定資産	建 設 仮 勘 定	42,020,000	47,614,077	57,013,287	58,162,191	88,534,292
	小 計	42,020,000	47,614,077	57,013,287	58,162,191	88,534,292
無形固定資産	電 話 加 入 権	62,600	62,600	62,600	62,600	62,600
	施 設 利 用 権	1,218,500	1,095,113	971,726	848,339	724,952
	地 上 権	5,568,245	5,568,245	5,568,245	5,568,245	5,568,245
	地 役 権	531,000	531,000	531,000	531,000	531,000
	ソフトウェア	0	0	0	0	0
	小 計	7,380,345	7,256,958	7,133,571	7,010,184	6,886,797
固 定 資 産 合 計		2,917,497,795	2,807,925,691	2,690,009,905	2,588,012,758	2,484,830,799

6 企業債の状況

借入先	令和3年度末 未償還残高	令和4年度末 未償還残高	令和5年度末 未償還残高	令和6年度末 未償還残高	令和7年度末 未償還残高
財務省	77,102,619 ^円	69,172,688 ^円	61,094,491 ^円	52,865,246 ^円	44,482,122 ^円
地方公共団体 金融機構	85,251,507	71,696,429	57,914,964	43,903,258	29,657,389
合計	162,354,126	140,869,117	119,009,455	96,768,504	74,139,511

表紙 中央ポンプ場(香南工業用水道)

公 営 企 業 局 の 概 要

(電 気 事 業 及 び 工 業 用 水 道 事 業)

令 和 8 年 8 月

発 行 高 知 県 公 営 企 業 局

〒780-0850

高知市丸ノ内1丁目7-52

電 話 088 (821) 4622

F A X 088 (821) 4626

印 刷 弘 文 印 刷 株 式 会 社



高知家